摂津市事業所ニーズ調査
結果報告書
（案）

摂津市

令和６年９月

目 次

１．調査の概要 1
　１　調査の目的 1
　２　調査対象 1
　３　調査方法及び回収状況 1
　４　報告書のみかた 1
２．調査結果 2
　１　調査対象企業の概要 2
　２　サービスの利用について 6
　３　経営状況について 9
　（１）自社の景況感、強み 9
　（２）他社との連携について 12
　（３）今後の経営に関すること 16
　４　企業立地について 19
　５　雇用状況について 22
　（１）新卒採用、中途採用について 22
　（２）人材確保・人材育成について 25
　（３）外国人雇用について 27
　（４）障がい者雇用について 29
　（５）高齢者雇用について 31
　（６）従業員の摂津市内在住について 34
　（７）退職金制度について 35
　６　従業員の勤務・通勤状況について 36
　（１）就業時間について 36
　（２）通勤について 38
　７　市政への要望 41
３．参考（調査票） 43

１．調査の概要

１　調査の目的

本調査は、摂津市内に所在する事業所の経営状況や市への要望等を把握し、次期「摂津市産業振興アクションプラン」策定のための基礎資料とすることを目的に実施しました。

なお、「摂津市産業振興アクションプラン」とは、『活力ある産業のまち』を具体的に実施する行動計画として、本市の産業振興施策の方向性と推進のあり方を示すものです。

２　調査対象

令和４年度に実施した物価高騰対策中小企業支援金事業に申請いただいた事業所を中心に抽出し調査を実施しました。

３　調査方法及び回収状況

【調査方法】　郵送により配布・回収（事前お知らせハガキ１回、礼状兼督促状１回）

【調査期間】　令和６年７月 16 日～８月２日

【回収状況】

対象数	配布数	回収数	有効回答率
2,516 件	2,448 件	854 件 （うち白票 4 件）	34.7%

４　報告書のみかた

①図中の「ｎ」は、設問に対する回答者数のことを示します。

②回答比率（%）は回答者数（ｎ）を 100%として算出し、小数点以下第２位を四捨五入して表示しました。四捨五入の結果、内訳の合計が計に一致しないことがあります。

③複数回答（「該当するものすべてに○」「該当するもの３つまでに○」など）を依頼した質問では、回答比率（%）の計は 100.0%を超えます。

④図表において、回答選択肢を簡略化して表記している場合があります。

⑤図表のｎ値が少ない場合、見方には注意が必要です。

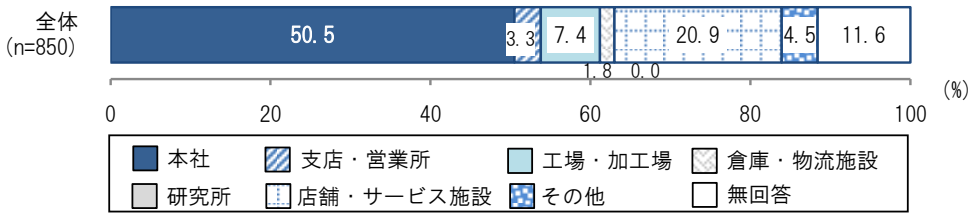
２．調査結果

１　調査対象企業の概要

①事業所区分

事業所区分については、「本社」が 50.5%で最も多く、次いで「店舗・サービス施設」が 20.9%、「工場・加工場」が 7.4%となってます。

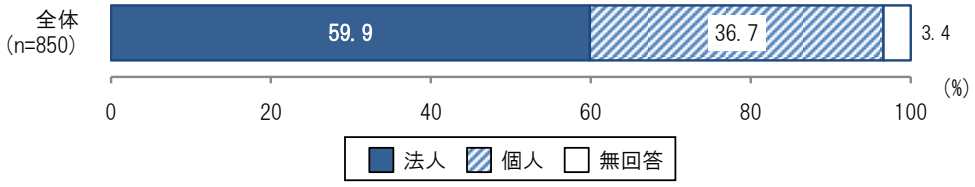
【事業所区分】



②経営形態

経営形態については、「法人」が 59.9%、「個人」が 36.7%となっています。

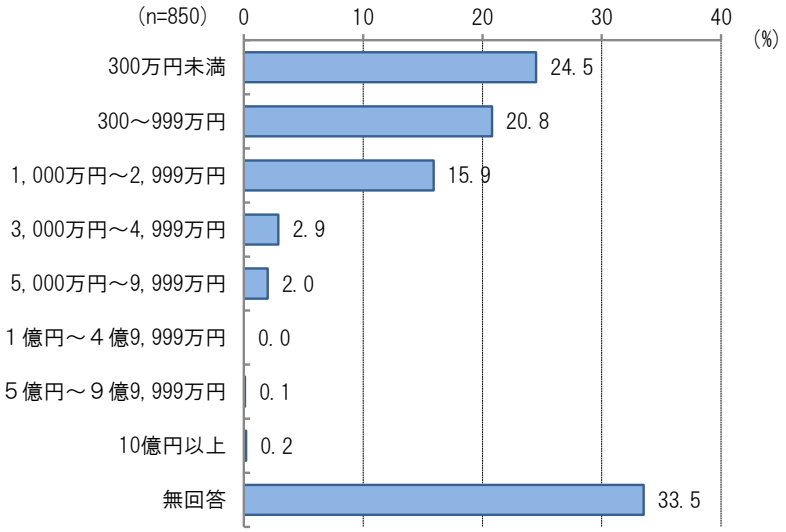
【経営形態】



③資本金

資本金については、「300 万円未満」が 24.5%で最も多くなっています。

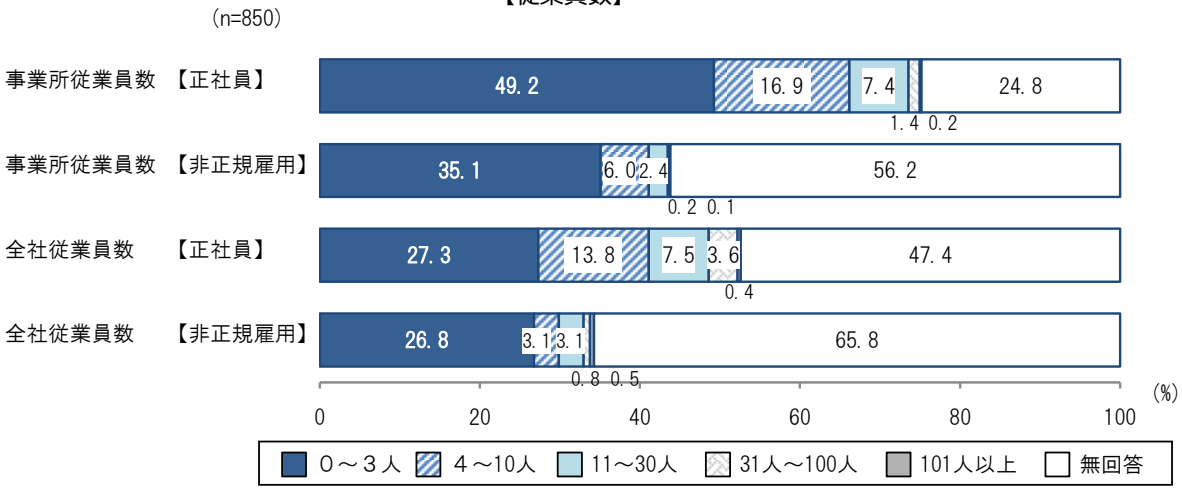
【資本金】



④従業員数

事業所の従業員数については、正社員・非正規雇用に関わらず「０～３人」が最も多くなっています。

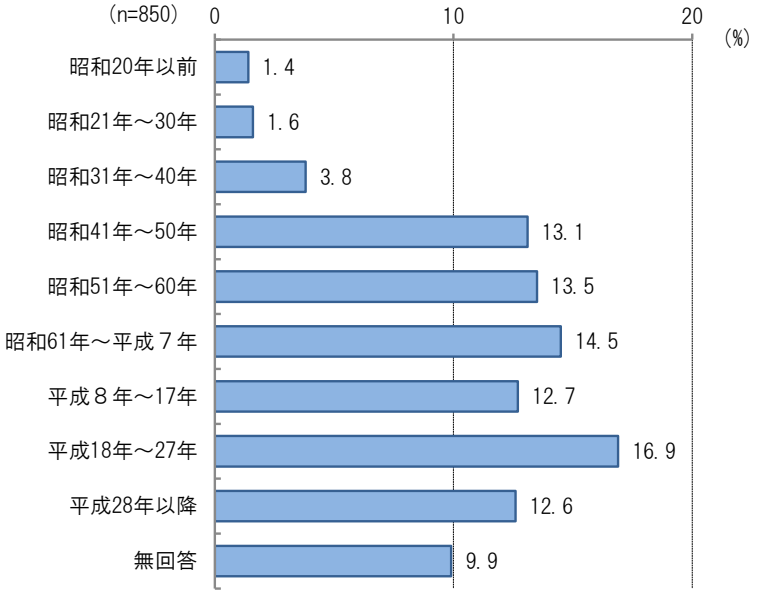
【従業員数】



⑤創業

創業の時期については、「平成 18 年～27 年」が 16.9%と最も多く、次いで「昭和 61 年～平成７年」が 14.5%、「昭和 51 年～60 年」が 13.5%となっています。

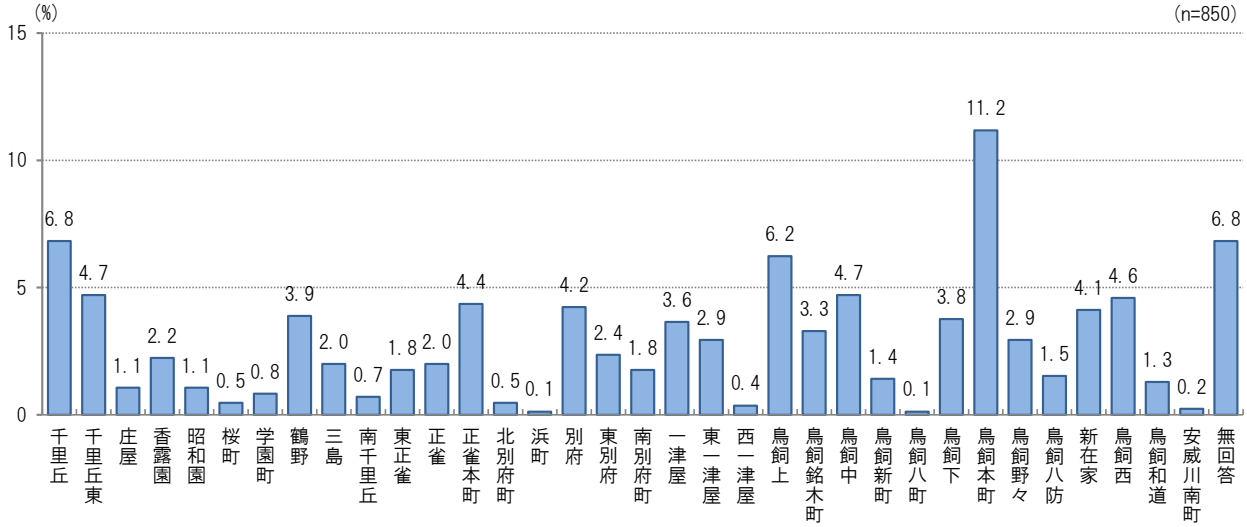
【創業の時期】



⑥所在地

事業所の所在地については、「鳥飼本町」が 11.2%と最も多く、次いで「千里丘」が 6.8%、「鳥飼上」が 6.2%となっています。

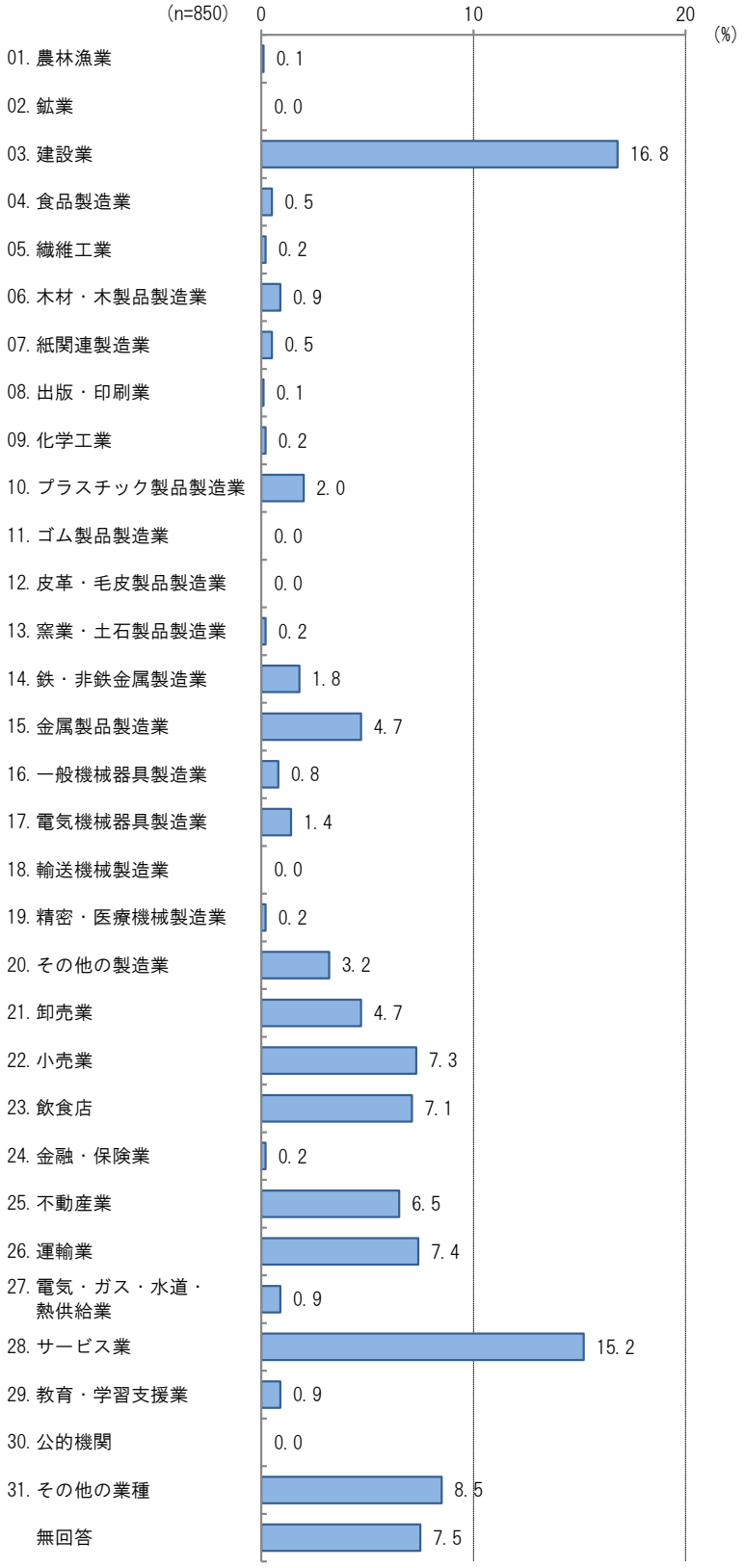
【所在地】



⑦業種

業種については、「建設業」が 16.8%で最も多く、次いで「サービス業」が 15.2%となっています。

【業種】

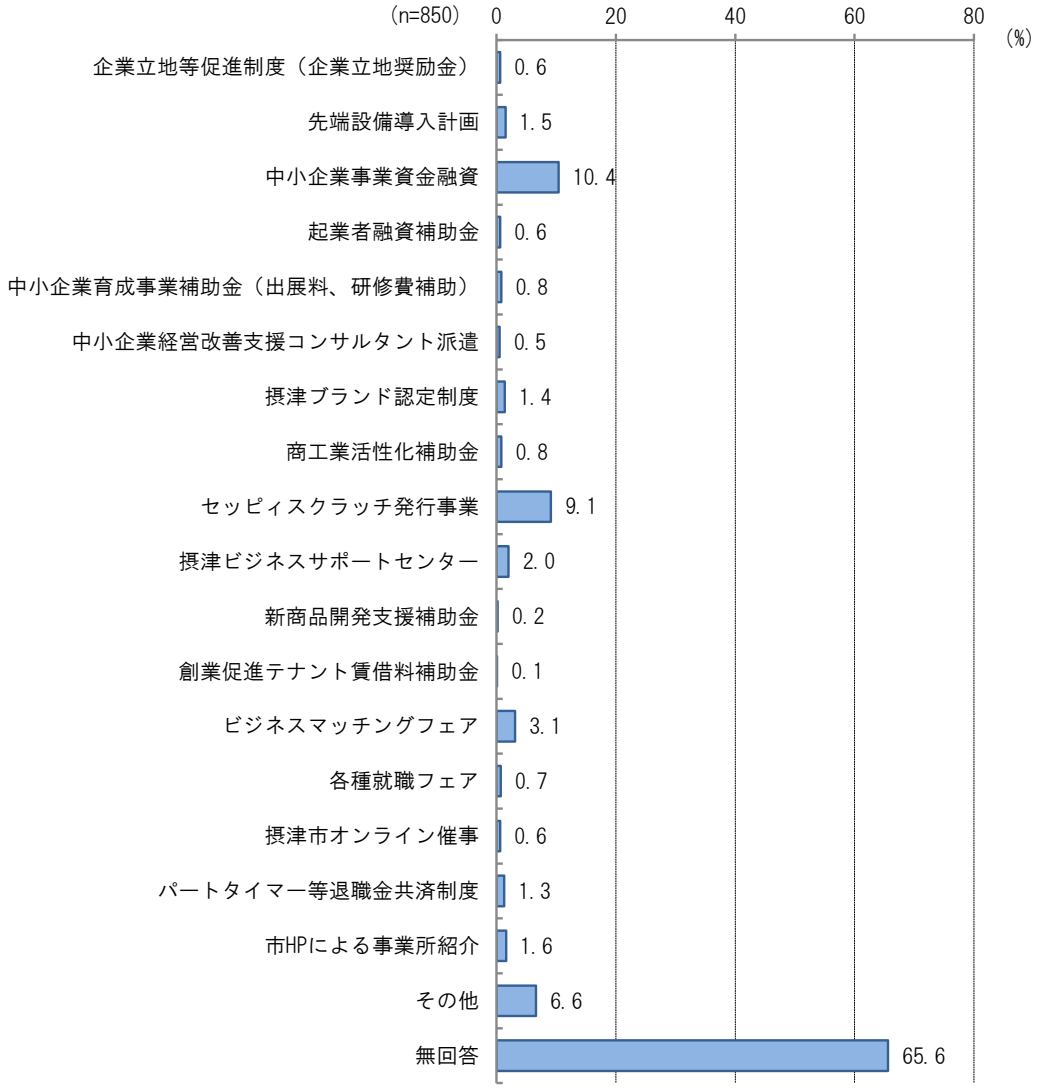


２　サービスの利用について

①利用したことがある摂津市のサービス（複数回答可）

本市が実施しているサービスや制度等について、これまで利用したことあるものをたずねたところ、「中小企業事業資金融資」が 10.4%、「セッピィスクラッチ発行事業」が 9.1%、「ビジネスマッチングフェア」が 3.1%となっています。また「その他」には「中小企業等物価高騰対策支援金」や「コロナ対策への支援」などの回答がありました。

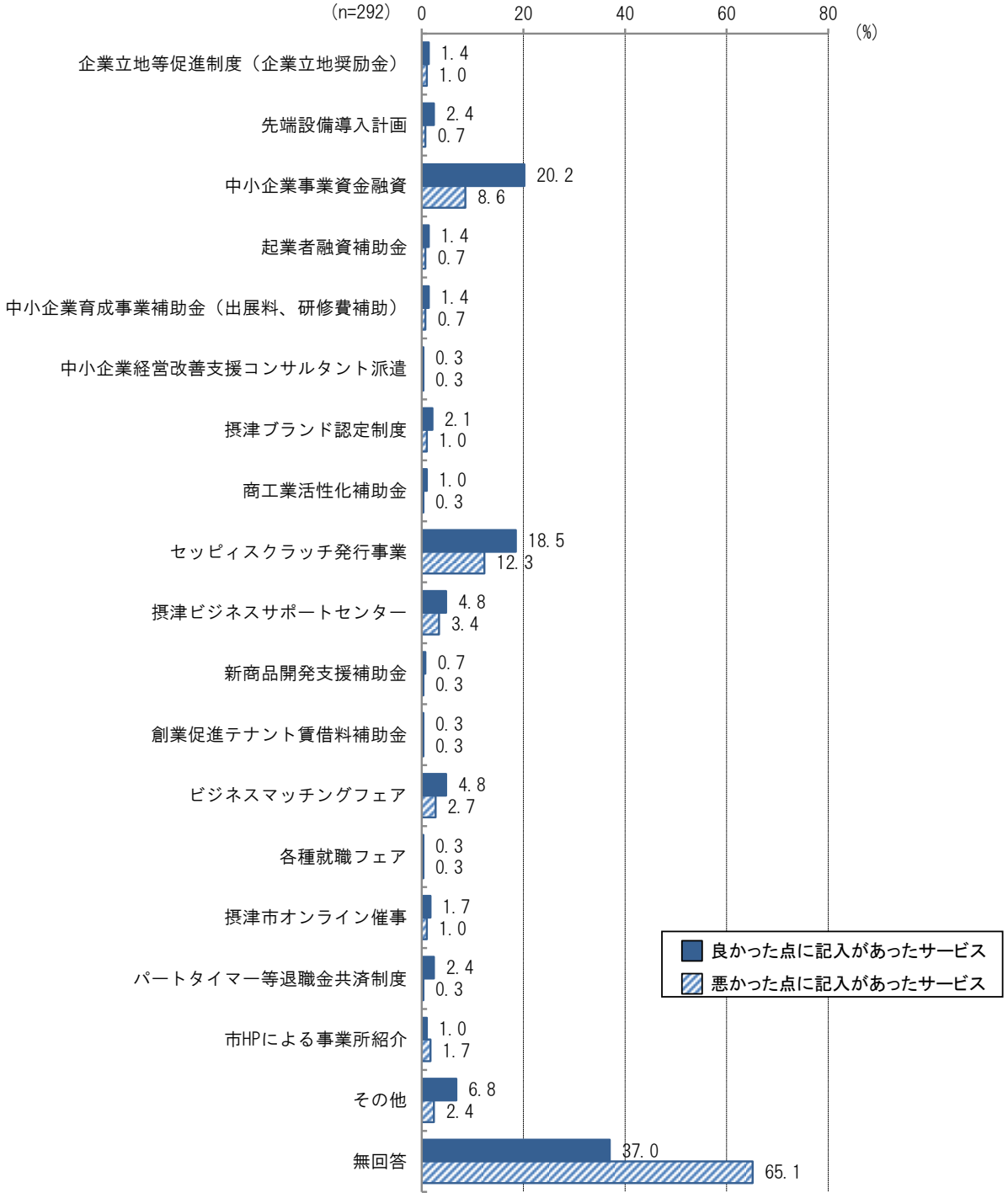
【サービスの利用状況】



②サービスを利用して良かった点、悪かった点
※①で利用したことがあると回答した方のみ

それぞれのサービスを利用して「良かった点」「悪かった点」をたずねたところ、「良かった点」に記入があったサービスは、「中小企業事業資金融資」が 20.2%と最も多く、次いで「セッピィスクラッチ発行事業」が 18.5%となっています。一方「悪かった点」は、「セッピィスクラッチ発行事業」が 12.3%と最も多く、次いで「中小企業事業資金融資」が 8.6%となっています。

【サービスを利用して「良かった点」「悪かった点」】



■サービスを利用して良かった点、悪かった点（自由記述）

利用したサービス等の良かった点、悪かった点、感想等、主な意見は次のとおりです。

サービス名	良かった点	悪かった点
先端設備導入計画	・申請時に親切に教えていただいた ・補助金加点、補助金申請に使用出来た ・固定資産税免除	・少し手続きに手間取った
中小企業事業資金融資	・資金繰りに助かった ・融資決定まで早かった点 ・低金利 ・保証金の補助 ・利息が安く、返済の計画が立てやすい ・説明が丁寧で親切だった	・上限金額が低かった ・書類作成が煩雑である ・手続きに時間と労力がかかった
摂津ブランド認定制度	・認定がある事で販売アピールができ、販売促進につながった ・売り上げに繋がった ・自社の製品に自信が持てた	
セッピィスクラッチ発行事業	・お客様がとても喜ばれ楽しまれた ・常連客の方が毎回楽しみにしてくれている ・新規来店者があったこと ・来客数が増えた ・宣伝効果があった ・顧客との会話等、交流が増えた ・店の売上が増えた	・数が多くてカウントが大変 ・他のクーポン券と開催時期が重なったとき、事務処理に時間がかかった ・金券が使えるお店がもっとあればいいと思う ・商売により効果が違うと思う ・新規のお客さんが増えるということはなかった ・パンフレット等が多すぎる。配布されてもいつも残り無駄に思う
摂津ビジネスサポートセンター	・親身になり相談を受けてくれた ・第３者の意見が聞けるので大変ありがたい ・時代の流れを知り、考え方や、方法の手助けをしていただいた ・クラファンで認知度がＵＰした	・予約が取りづらい ・１回限りで進展等にはつながらなかった
ビジネスマッチングフェア	・異業種企業との関係構築 ・多くの企業と名刺交換ができた ・仕入先がみつかった	・その後の発展がなかった ・その場限りの縁になりやすい。ワークショップなどあれば協業に発展することもあると思う
その他 （中小企業等物価高騰対策支援金）	・資金繰りを安定させられた ・シンプルに助かった ・提出書類が少なくてよかった	・他の支援金と比べて少ないように思う ・見逃すところだった（気付きにくい）

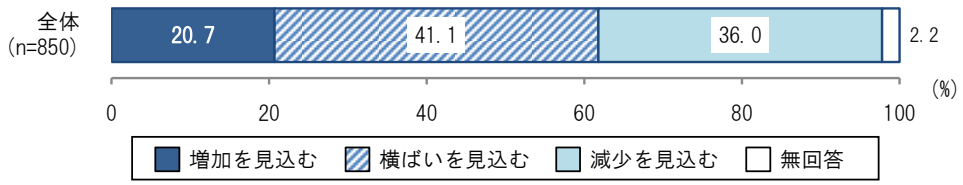
３　経営状況について

（１）自社の景況感、強み

①今期の最終利益の見込み

前期と比較した今期の最終利益についてたずねたところ、「増加を見込む」が 20.7%、「横ばいを見込む」が 41.1%、「減少を見込む」が 36.0%となっています。

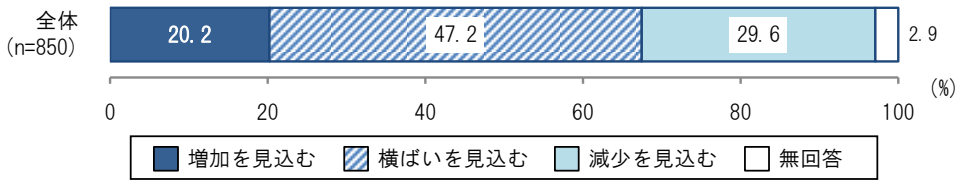
【今期の最終利益の見込み】



②来期の最終利益の見込み

今期と比較した来期の最終利益の見込みについてたずねたところ、「増加を見込む」が 20.2%、「横ばいを見込む」が 47.2%、「減少を見込む」が 29.6%となっています。

【来期の最終利益の見込み】



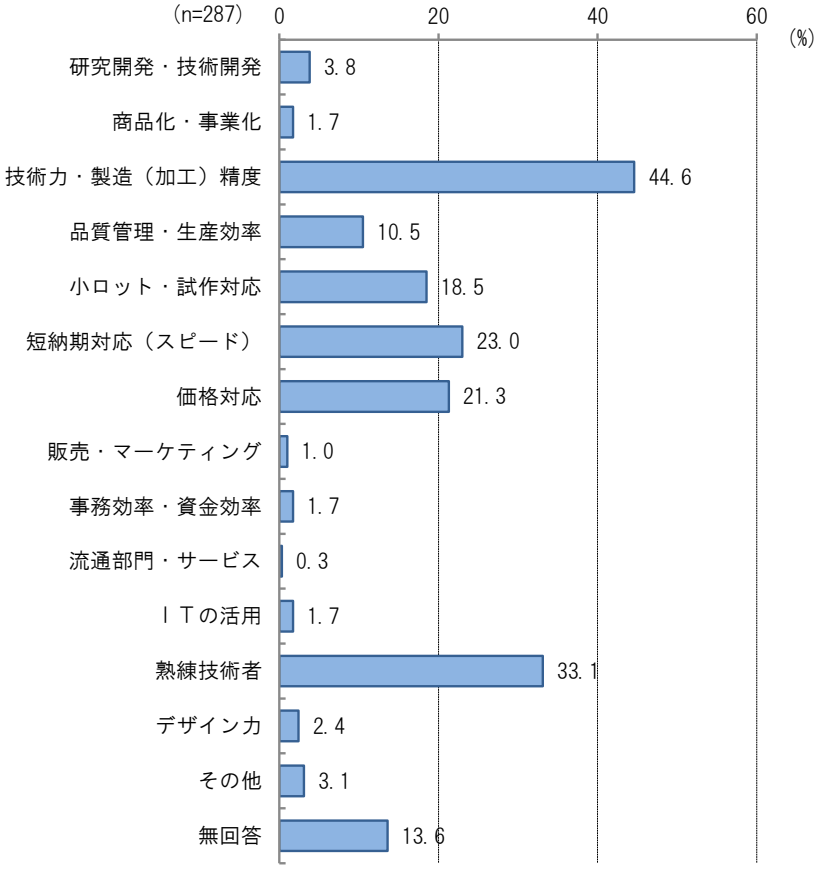
③同業他社と比較した場合の自社の強み（複数回答可）

■ものづくり系企業

※業種で「01．農業」～「20．その他の製造業」と回答した事業所（５頁の⑦業種を参照）

同業他社と比較した場合の自社の強みについてたずねたところ、「技術力・製造（加工）精度」が 44.6%と最も多く、次いで「熟練技術者」が 33.1%、「短納期対応（スピード）」が 23.0%、「価格対応」が 21.3%となっています。

【自社の強み（ものづくり系企業）】

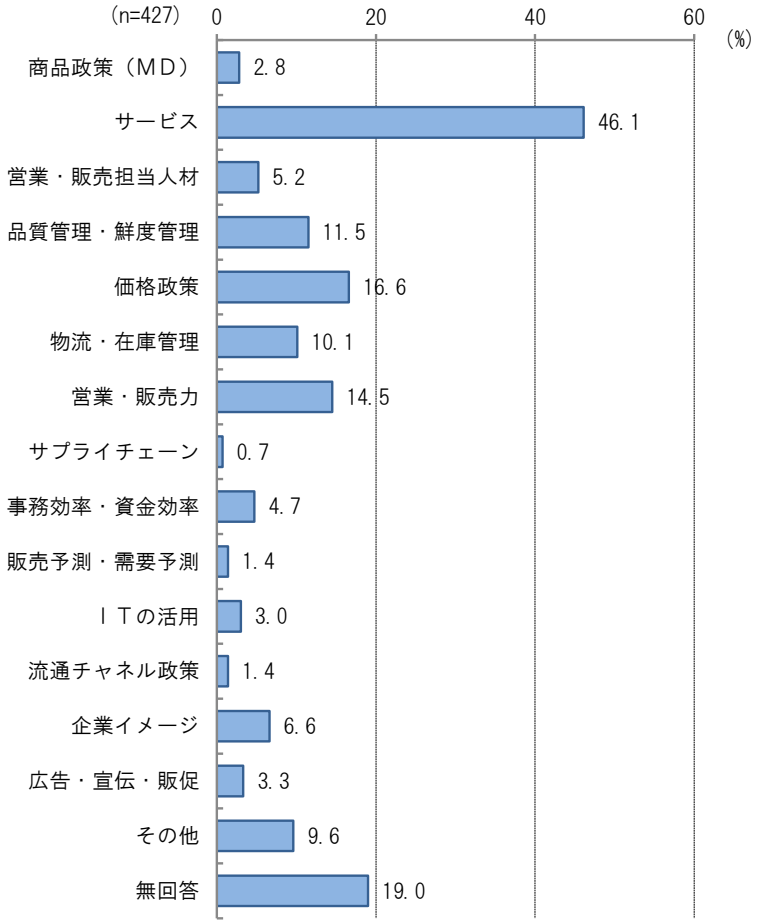


■商業系企業

※業種で「21．卸売業」～「30．公的機関」と回答した事業所（５頁の⑦業種を参照）

商業系企業の強みは、「サービス」が 46.1%と最も多く、次いで「価格政策」が 16.6%、「営業・販売力」が 14.5%、「品質管理・鮮度管理」が 11.5%となっています。

【自社の強み（商業系企業）】

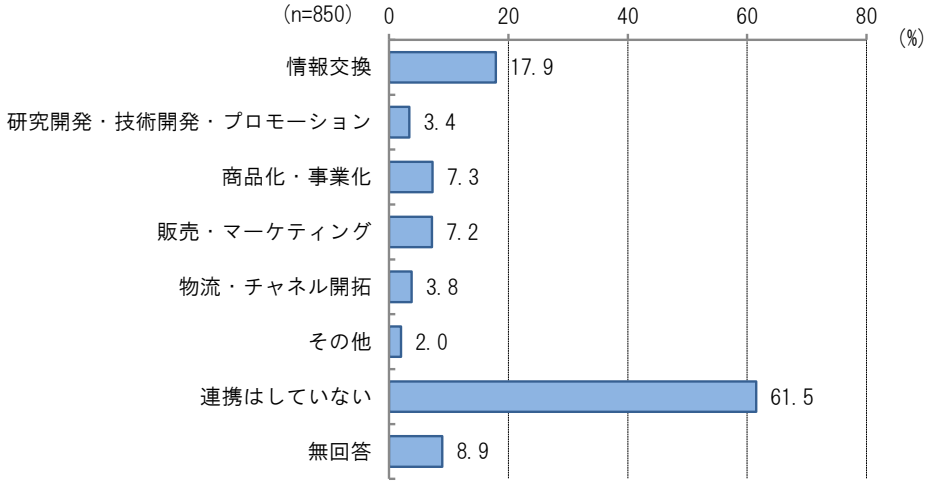


（２）他社との連携について

①自社がよく連携（業務提携や共同開発、共同仕入れ等）をする業務（複数回答可）

よく連携をするのはどのようなタイプの業務かたずねたところ、「情報交換」が 17.9%と最も多く、次いで「商品化・事業化」が 7.3%、「販売・マーケティング」が 7.2%となっています。一方「連携はしていない」は 61.5%となっています。

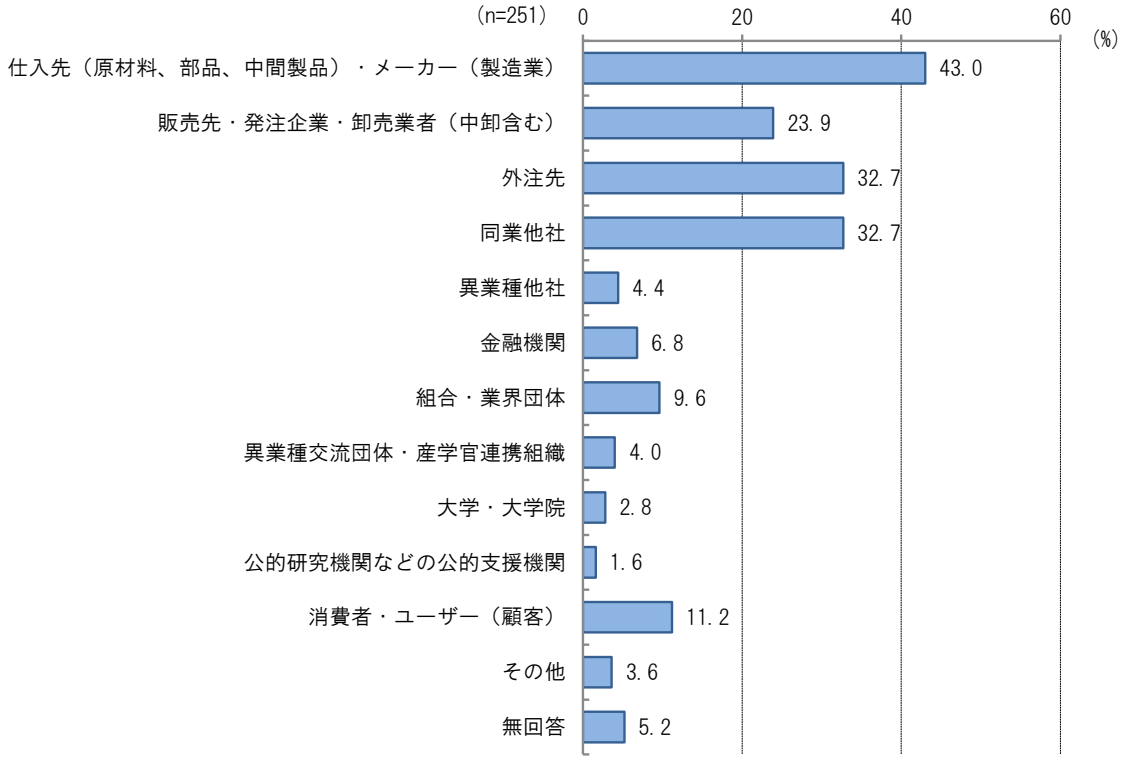
【よく連携する業務】



②自社がよく連携をする企業（複数回答可）
※①で連携していると回答した方のみ

よく連携するのはどのような企業などかたずねたところ、「仕入先（原材料、部品、中間製品）・メーカー（製造業）」が43.0％と最も多く、次いで「外注先」と「同業他社」がそれぞれ32.7％、「販売先・発注企業・卸売業者（中卸含む）」が23.9％となっています。

【よく連携する企業】



③連携に至ったきっかけ（自由記述）

連携に至ったきっかけについて、主な意見は次のとおりです。

□業務での関わり
・自社ではできない作業のため
・下請業務をおこなったことがきっかけ
・オリジナル商品の開発のため
・一度取引した同業者と意気投合し、情報交換するようになった

□業績向上や業務の改善、目標達成のため
・当社のみで対応困難なニーズがあった際、仕入先や外注先と協力して達成するため
・仕事の範囲を広げるため
・企業間連携でスケールメリットを出す
・新しい情報を共有することが重要なため
・技術向上、人手不足による助け合いのため

□同業者や組合、業界団体等のつながり
・同業者団体での付き合いがある
・近くの同業者さんからいろいろ教えていただいている
・同業組合に加入した

□紹介がきっかけ
・取引先からの紹介
・摂津市商工会の紹介
・知人からの紹介

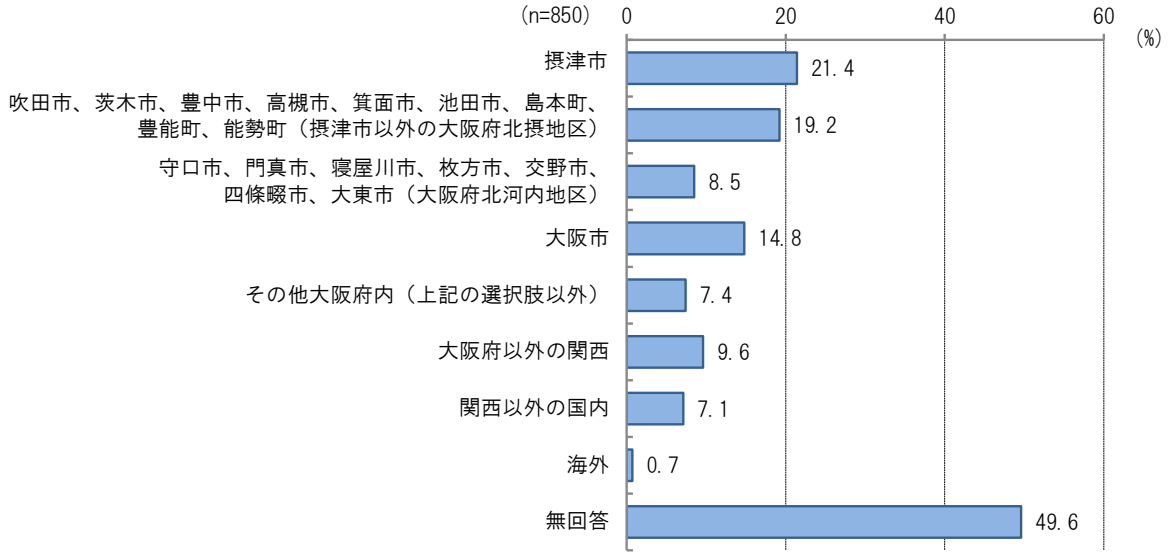
□チラシやホームページなどの広告
・チラシやホームページを見た企業からの依頼があった
・当社ホームページをみて相談されることがある
・ネットからの問い合わせがある

□イベントや研究会等がきっかけ
・ビジコンなどがきっかけ
・摂津市の取り組みから知り合った
・懇談会等がきっかけ

④自社がよく連携する企業の所在地（複数回答可）

よく連携する企業などはどこに所在するものが多いかたずねたところ、「摂津市」が21.4%と最も多く、次いで「吹田市、茨木市、豊中市、高槻市、箕面市、池田市、島本町、豊能町、能勢町（摂津市以外の大阪府北摂地区）」が 19.2%、「大阪市」が 14.8%となっています。

【よく連携する企業】

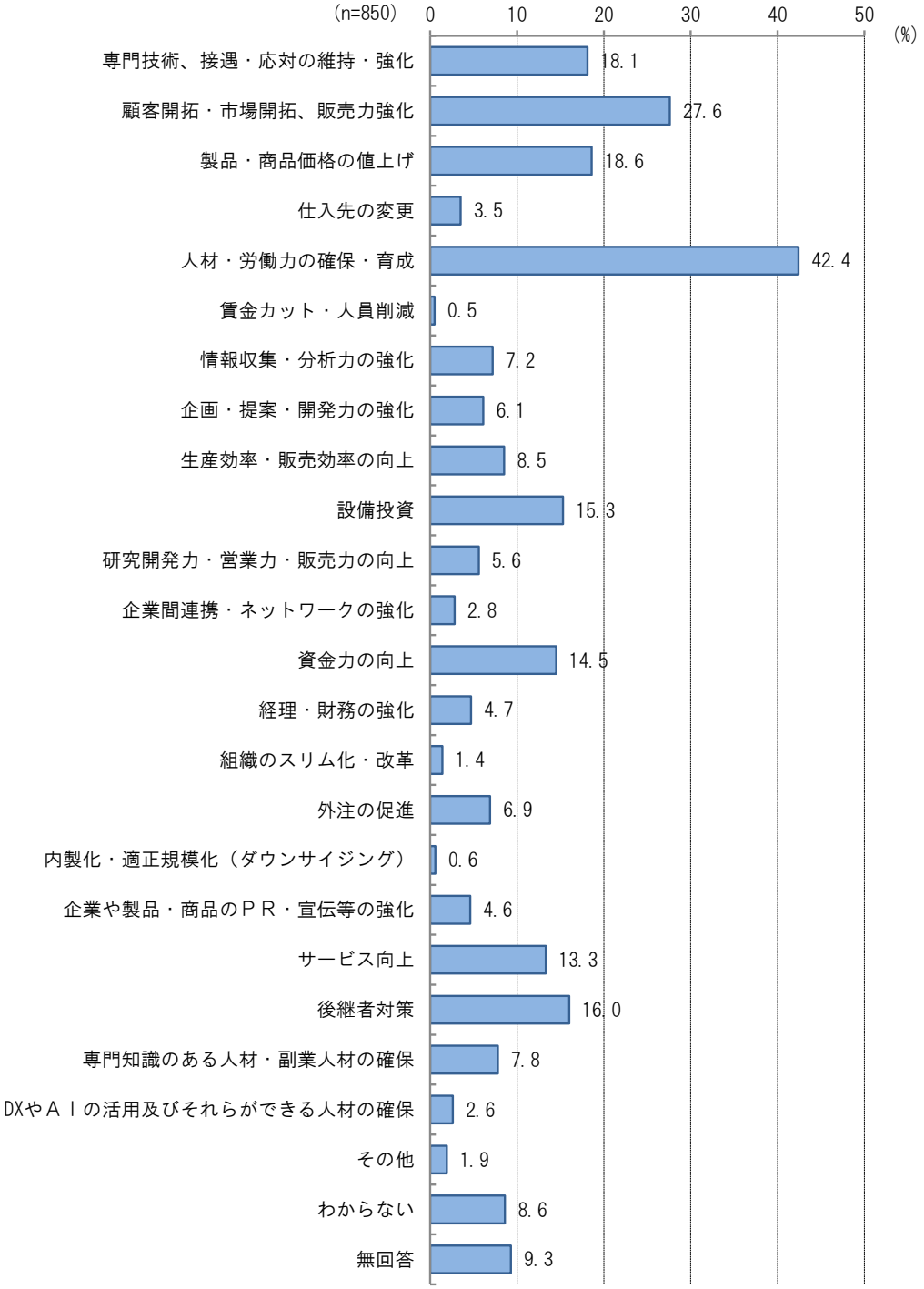


（３）今後の経営に関すること

①今後の経営においての課題（複数回答可）

今後の経営課題についてたずねたところ、「人材・労働力の確保・育成」が 42.4%と最も多く、次いで「顧客開拓・市場開拓、販売力強化」が 27.6%、「製品・商品価格の値上げ」が 18.6%、「専門技術、接遇・応対の維持・強化」が 18.1%、「後継者対策」が 16.0%となっています。

【今後の経営課題】



②前問で選択した課題に対し具体的に対策していること（自由記述）

課題に対し具体的に対策していることについて、主な意見は次のとおりです。

□人材・労働力の確保・育成に関すること

・人材紹介の会社に依頼している
・求人広告を強化したり、人材育成の講習、勉強会を開催している
・従業員全員で育成をバックアップしている
・ポリテクセンター、ハローワークに登録している
・求人サイトを利用している
・外国人の採用をはじめた

□顧客開拓・市場開拓、販売力強化に関すること

・ネット通販に力を入れる
・新しい商店とその価値で顧客を開拓する
・ＳＮＳを利用する
・商品の種類を増やす

□製品・商品価格の値上げに関すること

・物価高による単価の値上げを実施中である
・同業種の価格調査
・値段を上げにくいので、量を少し減らし原価を下げている
・取引業者に単価を上げてもらえるよう交渉している

□専門技術、接遇・応対の維持・強化に関すること

・お客様に満足していただける技術の向上にむけて勉強中である
・消費者のニーズにひたすらこたえること
・技術や対応に関して基礎から再確認している

□設備投資に関すること

・製造ラインの更新や事務所の改装をおこなった
・設備投資による機械化を進めている
・設備情報を収集している

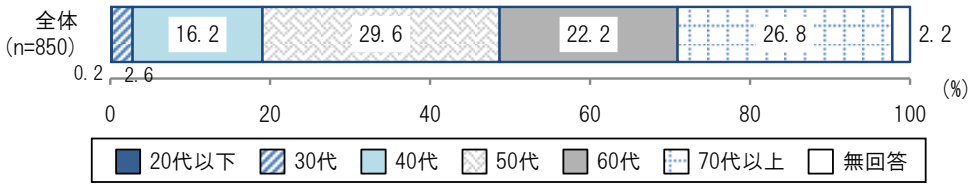
□その他

・ホームページ、ＳＮＳ等を活用しはじめた
・商工会、ビジサポでの面談を受けている
・Ｍ＆Ａによるグループ化
・人材不足のためにロボット溶接機を２台導入した

③自社の経営者（代表取締役）の年齢

経営者の年齢をたずねたところ、「50 代」が 29.6%と最も多く、次いで「70 代以上」が 26.8%、「60 代」が 22.2%となっています。

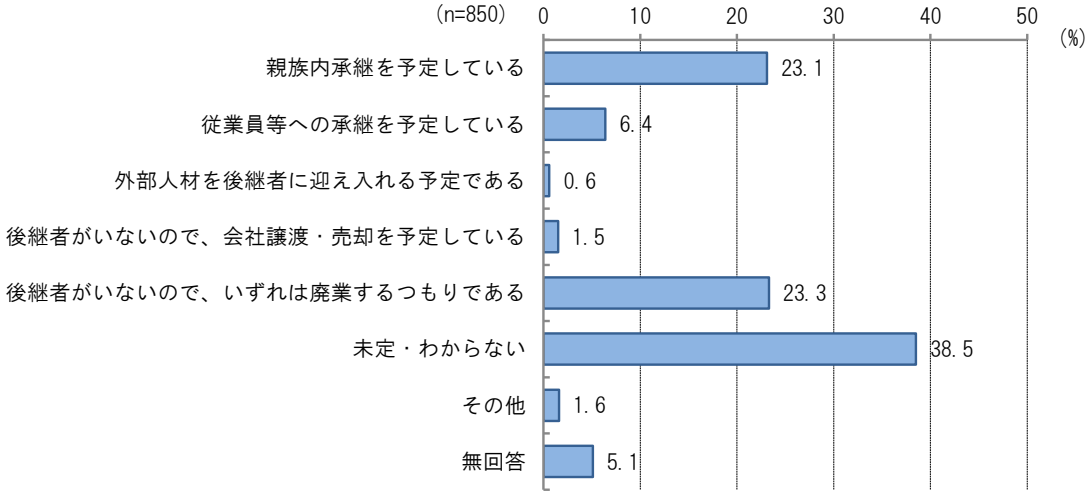
【経営者（代表取締役）の年齢】



④自社の後継者

後継者については、「未定・わからない」が 38.5%で最も多くなっています。次いで「後継者がいないので、いずれは廃業するつもりである」が 23.3%、「親族内承継を予定している」が 23.1%、「従業員等への承継を予定している」が 6.4%となっています。

【自社の後継者】

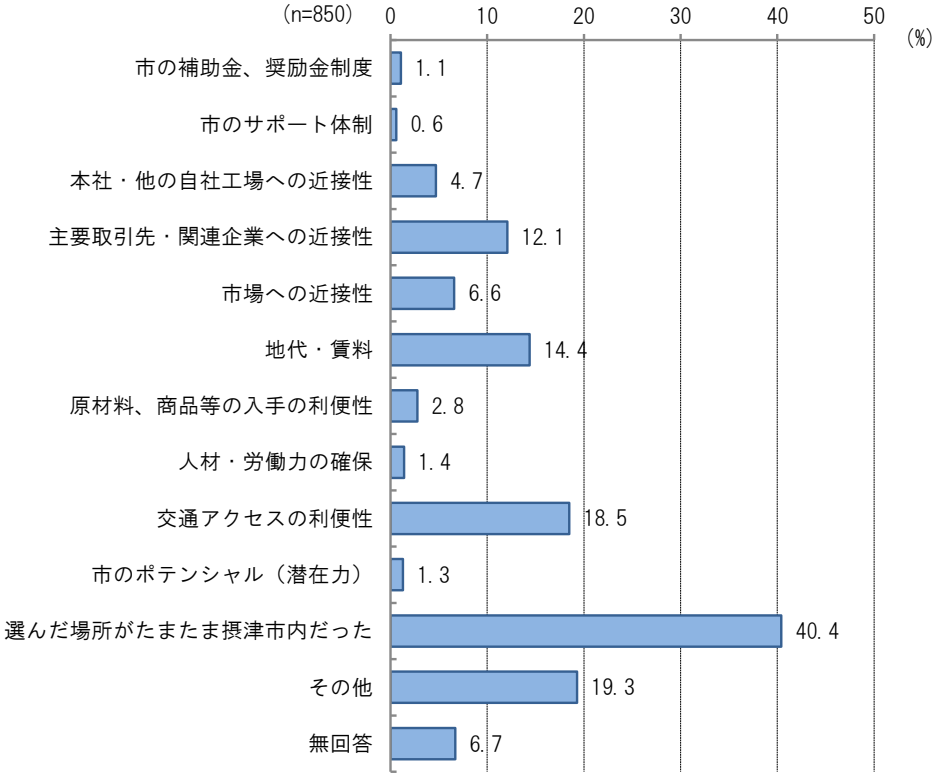


４　企業立地について

①摂津市内に事業所を設置した理由（複数回答可）

摂津市内に事業所を設置した理由については、「選んだ場所がたまたま摂津市内だった」が40.4%と最も多く、次いで「交通アクセスの利便性」が18.5%、「地代・賃料」が14.4%、「主要取引先・関連企業への近接性」が12.1%となっています。また「その他」には“自宅から近いため”、“自宅兼事務所のため”などの回答がありました。

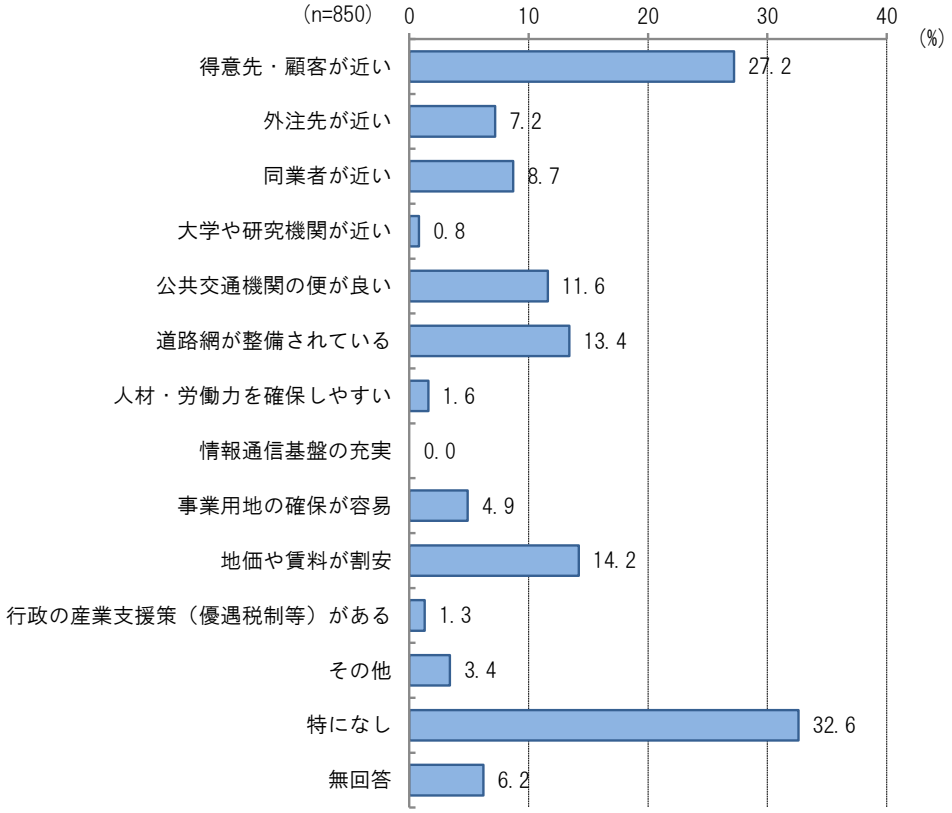
【摂津市内に事業所を設置した理由】



②摂津市内で事業を行うメリット（複数回答可）

摂津市内で事業を行うメリットについては、「得意先・顧客が近い」が 27.2%と最も多く、次いで「地価や賃料が割安」が 14.2%、「道路網が整備されている」が 13.4%、「公共交通機関の便が良い」が 11.6%となっています。

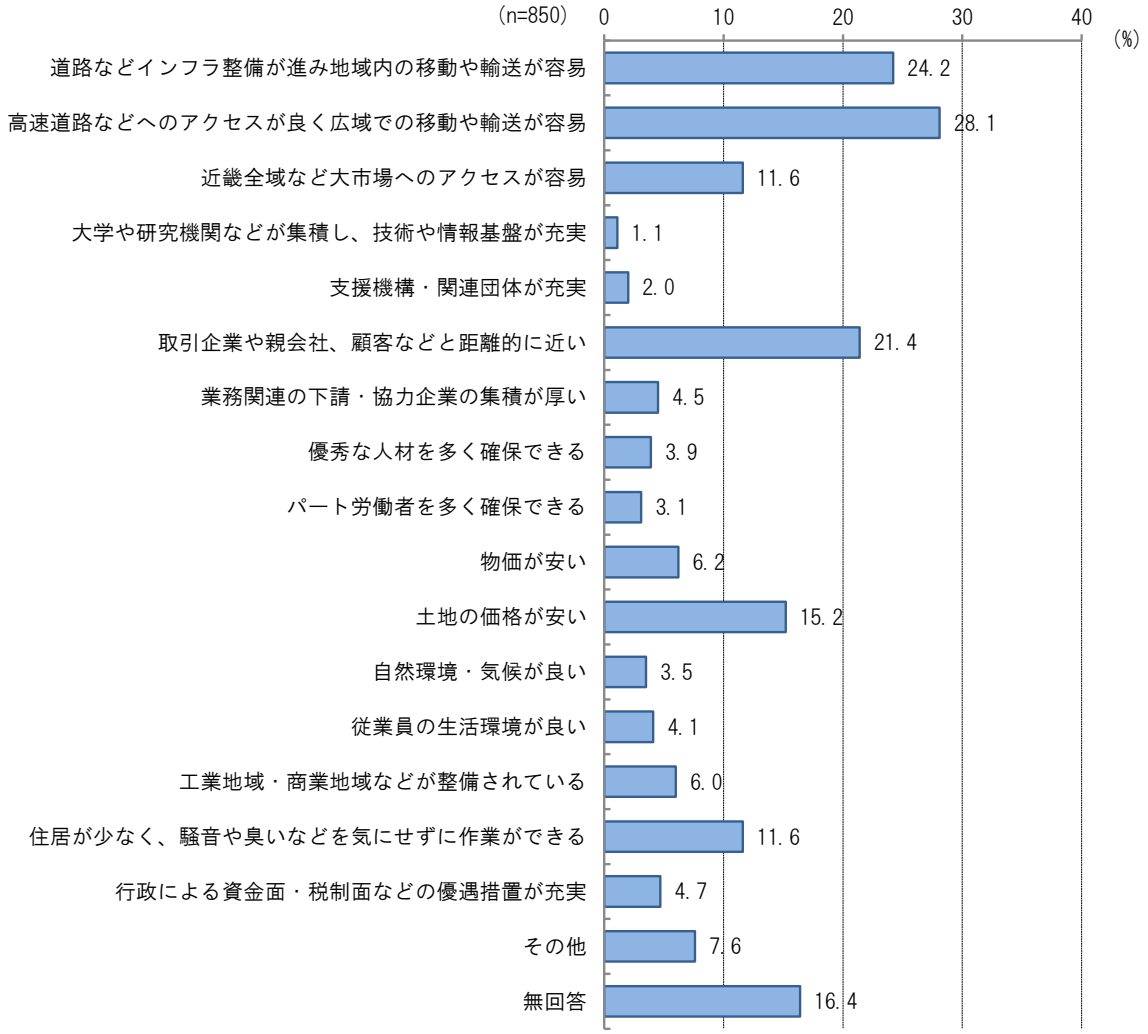
【事業を行うメリット】



③立地条件で重視すること（複数回答可）

立地条件として重視することについては、「高速道路などへのアクセスが良く広域での移動や輸送が容易」が 28.1％と最も多く、次いで「道路などインフラ整備が進み地域内の移動や輸送が容易」が 24.2％、「取引企業や親会社、顧客などと距離的に近い」が 21.4％となっています。

【立地条件で重視すること】



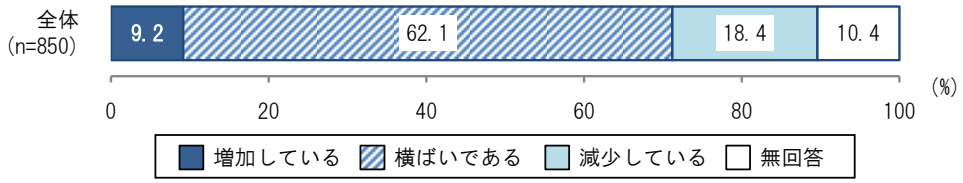
５　雇用状況について

（１）新卒採用、中途採用について

①前期と比較した従業員数

前期と比較した従業員数については、「増加している」が 9.2%、「横ばいである」が 62.1%、「減少している」が 18.4%となっています。

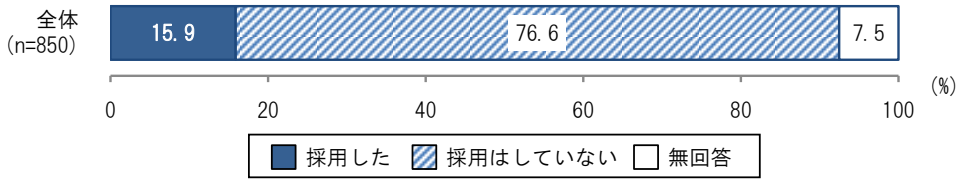
【前期と比較した従業員数】



②新卒採用または中途採用の有無

今年度（令和６年度）、新卒採用または中途採用をおこなったかをたずねたところ、「採用した」が 15.9%、「採用はしていない」が 76.6%となっています。

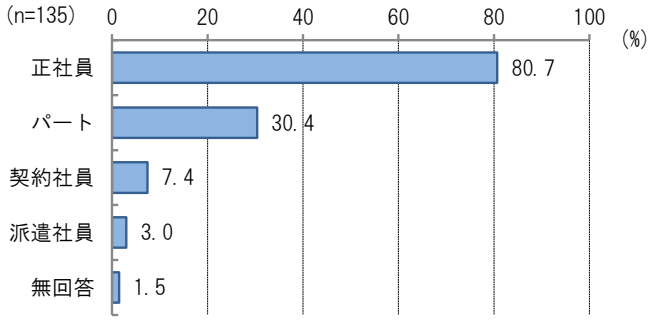
【新卒採用または中途採用の有無】



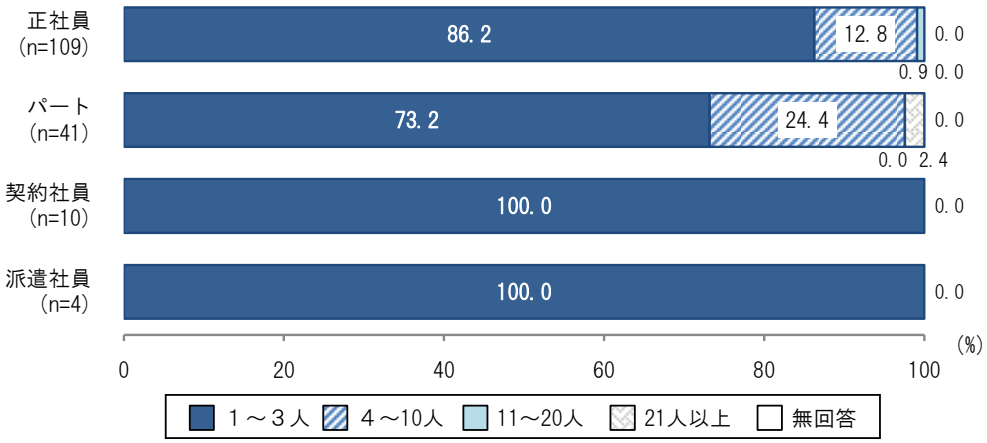
③採用した方の雇用形態と人数（複数回答可）

採用した方の雇用形態は、「正社員」が 80.7%、「パート」が 30.4%となっています。採用人数はいずれの雇用形態も「１～３人」が多くなっています。

【採用した方の雇用形態】



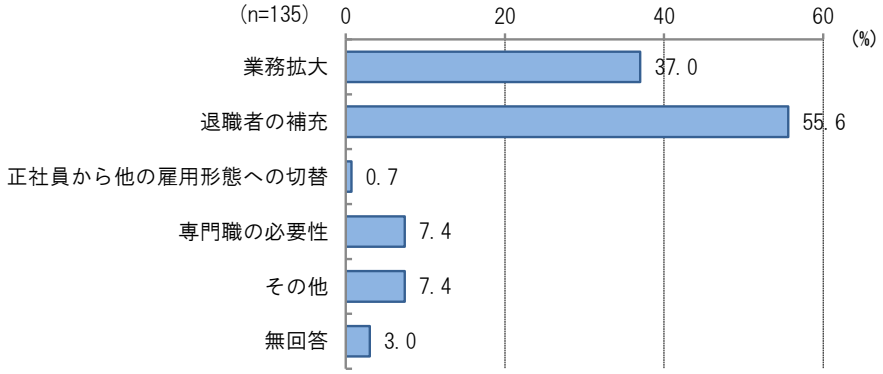
【採用した人数】



④採用した理由（複数回答可）

採用した理由は、「退職者の補充」が 55.6%と最も多く、次いで「業務拡大」が 37.0%となっています。

【採用した理由】



⑤採用活動に関する年間経費（自由記述）

採用活動に関する年間経費について、主な記載内容をみると

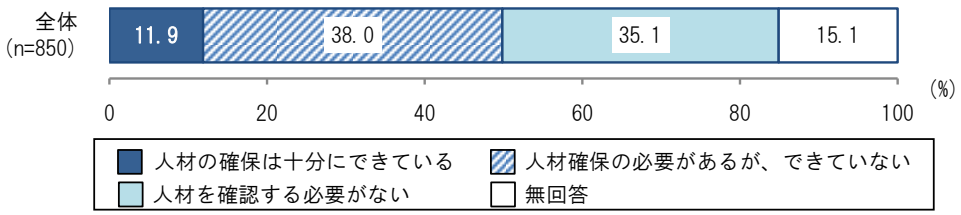
・採用活動の主な媒体は“求人サイト”や“求人誌”が多くなっています。また“ハローワーク”、“人材紹介会社”、“知人等の紹介”といった記載もありました。
・年間経費については、“０円”“なし”が多くなっています。“ハローワークのため０円”や“知人の紹介のため０円”、“採用活動をしていないため”といった記載もありました。
・経費がかかっている場合では、数万～10 万程度から、数十万円、100～300 万円程度と様々です。

（２）人材確保・人材育成について

①人材確保の状況

人材確保の状況についてたずねたところ、「人材確保の必要があるが、できていない」が38.0%と最も多く、次いで「人材を確認する必要がない」が 35.1%、「人材の確保は十分にできている」が11.9%となっています。

【人材確保の状況】



②人材確保の手段、人材確保ができていない理由（自由記述）

前問で「人材確保は十分にできている」と回答した方には確保手段を、「人材確保はできていない」と回答した方にはその理由をたずねました。主な意見は次のとおりです。

□確保できている場合の人材確保の手段

・求人サイト、求人誌、求人広告
・紹介（知人、同業者、取引先、社員やスタッフなど）
・ハローワーク
・長年勤めてくれている、離職率を下げる工夫をしている
・家族経営のため

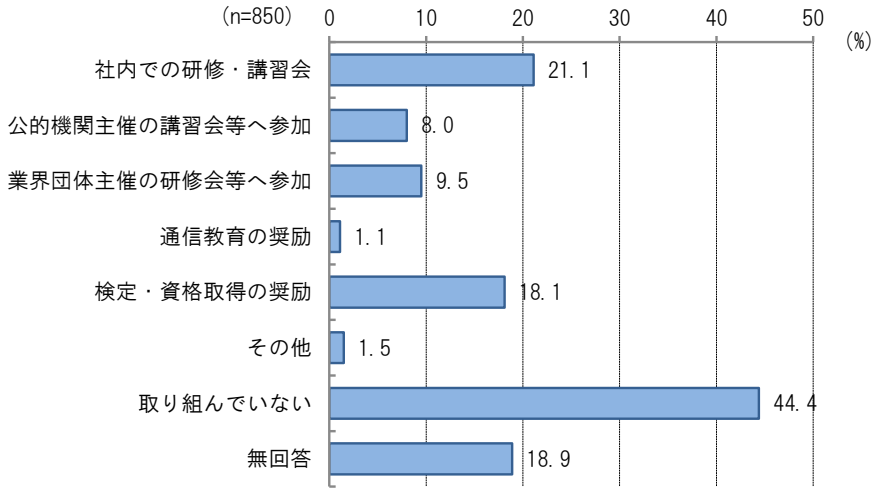
□人材確保ができていない理由

・募集をかけても応募者が来ない、人材不足、採用難
・求める人材がいない（採用したい人材が来ない、専門職である、技術者の確保が難しい）
・資金的なこと（売上が減少、人件費を負担できない、仕事量が不安定なため、広告に費用をかけられない）
・業界として応募が少ない職種である（建設業、製造業、ドライバー等）
・採用してもすぐに辞めてしまう
・雇用条件で避けられてしまう（労働時間が長い、休日が少ない、就業時間が特殊など）

③人材育成の取り組み（複数回答可）

人材育成の取り組みについては、「取り組んでいない」が 44.4%で最も多くなっています。取り組んでいる場合では、「社内での研修・講習会」が 21.1%、「検定・資格取得の奨励」が 18.1%、「業界団体主催の研修会等へ参加」が 9.5%、「公的機関主催の講習会等へ参加」が 8.0%となっています。

【人材育成の取り組み】

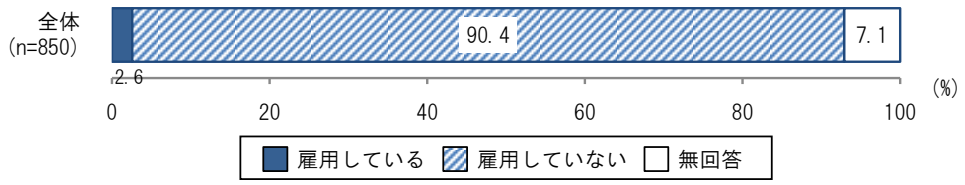


（３）外国人雇用について

①外国人技能実習生の雇用の有無

外国人技能実習生の雇用状況は、「雇用している」が 2.6%、「雇用していない」が 90.4%となっています。

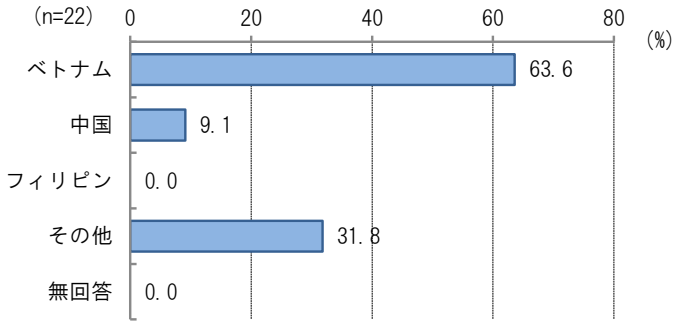
【外国人技能実習生の雇用の有無】



②雇用している外国人技能実習生の国籍と人数（複数回答可）

外国人技能実習生の国籍は「ベトナム」が最も多くなっています。また「その他」には“インドネシア”“マレーシア”などの回答がありました。

【外国人技能実習生の国籍】



【外国人技能実習生の人数】

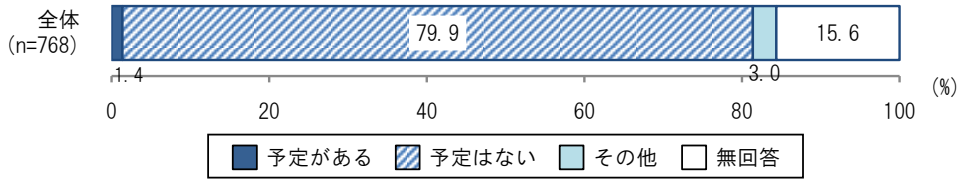
(%)

	調査数	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
ベトナム人	14	14.3	14.3	21.4	14.3	21.4	14.3
中国人	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
フィリピン人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	7	0.0	42.9	0.0	28.6	0.0	28.6

③今後の外国人技能実習生の雇用予定
※①で「雇用していない」と回答した方のみ

今後、外国人技能実習生を雇用する予定はあるかたずねたところ、「予定がある」が1.4%、「予定はない」が79.9%となっています。

【今後の外国人技能実習生の雇用予定】



④外国人技能実習生を雇用することの課題（自由記述）

外国人技能実習生を雇用することの課題について、主な意見は次のとおりです。

□言葉の壁、文化や習慣の違い
- 言葉が通じない、言葉の壁は大きい
- コミュニケーションがうまくとれるか不安である
- 専門的なことを詳しく教えるための言葉が通じない
- 感覚の違いを感じる

□受け入れる側の問題
- 住居の確保や生活支援などフォロー体制の課題
- 手続きが煩雑である、多忙で対応できない
- 他の社員との人間関係、意思疎通の問題
- いろいろと費用がかかる

□業務の専門性
- 専門知識が必要である
- 専門用語が多いので対応が難しい
- 業種的に採用は難しい

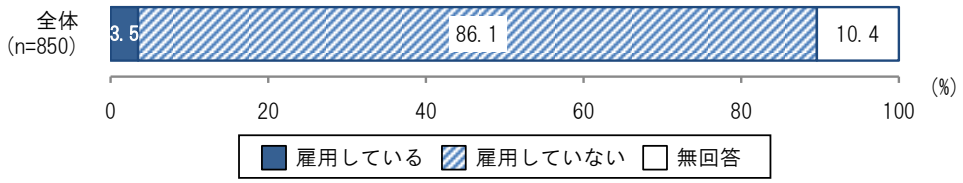
□その他
- 長く働いてもらえないと意味がない
- 技術を身につけてもいずれ帰国してしまう
- 何かあったときの対応が不安である

（４）障がい者雇用について

①障がい者の雇用状況

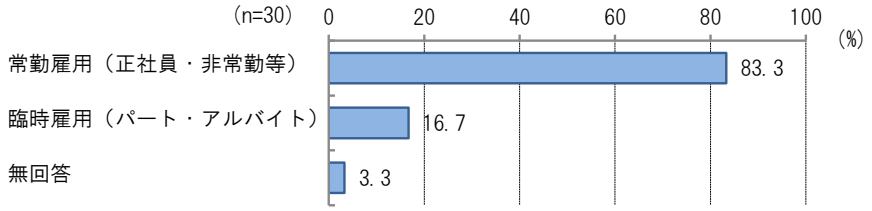
障がい者雇用については、「雇用している」が 3.5%、「雇用していない」が 86.1%となっています。

【障がい者の雇用状況】



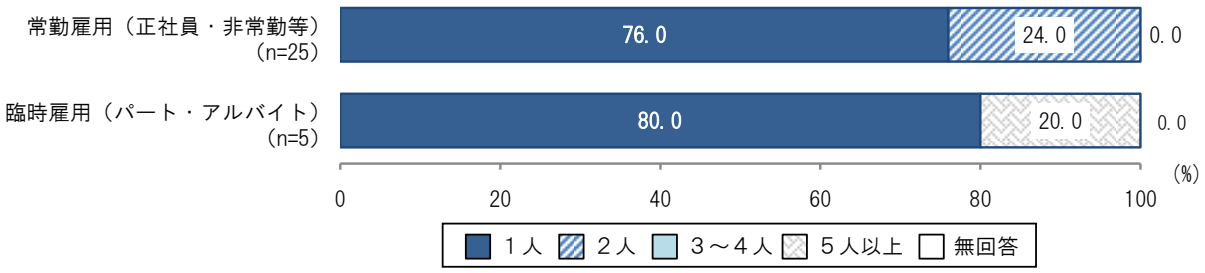
■雇用している場合の雇用形態と人数

【雇用形態】



※複数回答

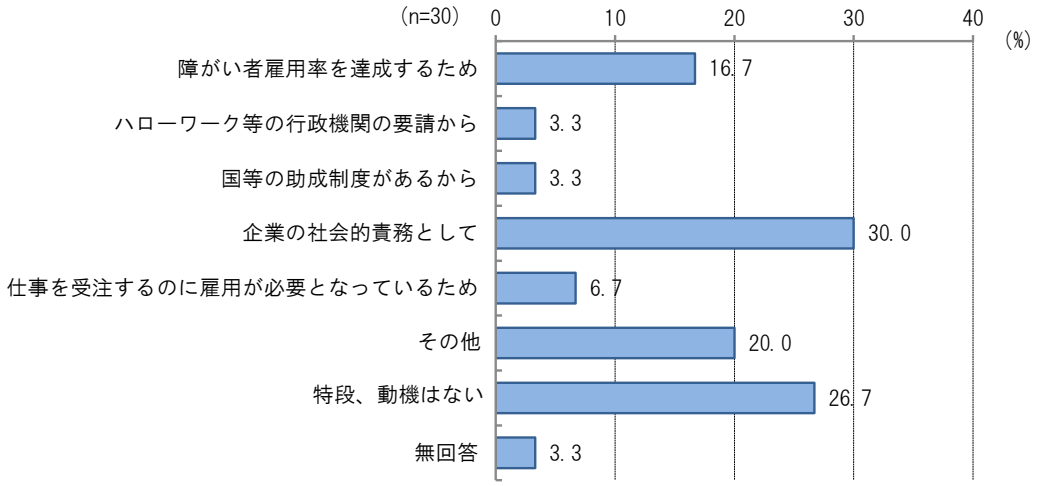
【雇用人数】



②障がい者雇用の動機（複数回答可）
※①で「１．雇用している」と回答した方のみ

障がい者雇用の動機については、「企業の社会的責務として」が 30.0%と最も多く、次いで「障がい者雇用率を達成するため」が16.7%となっています。また「その他」には“雇用後に障がい者になった”といった回答がありました。

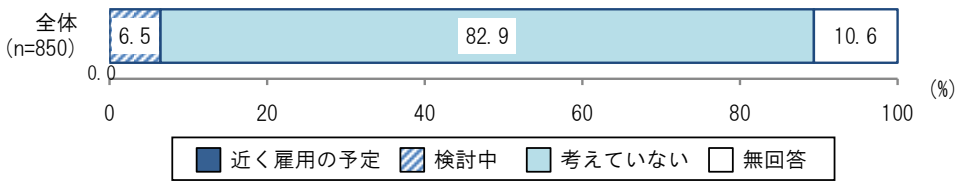
【障がい者雇用の動機】



③今後の障がい者雇用の予定

今後の障がい者雇用の予定については、「検討中」が 6.5%、「考えていない」が 82.9%となっています。

【今後の障がい者雇用の予定】

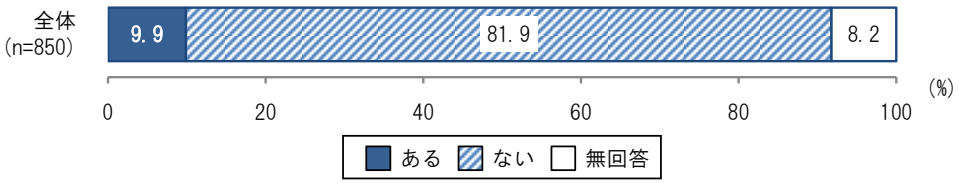


（５）高齢者雇用について

①高齢者の新規採用の有無

過去５年間に 65 歳以上の方を新規に採用したことがあるかをたずねたところ、「ある」が 9.9%、「ない」が 81.9%となっています。

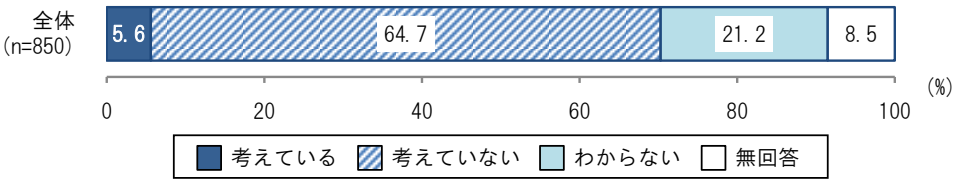
【高齢者の新規採用の有無】



②今後の高齢者の新規採用について

今後、65 歳以上の方の新規採用を増やしたい、又は始めたいと考えているかたずねたところ、「考えている」が 5.6%、「考えていない」が 64.7%となっています。

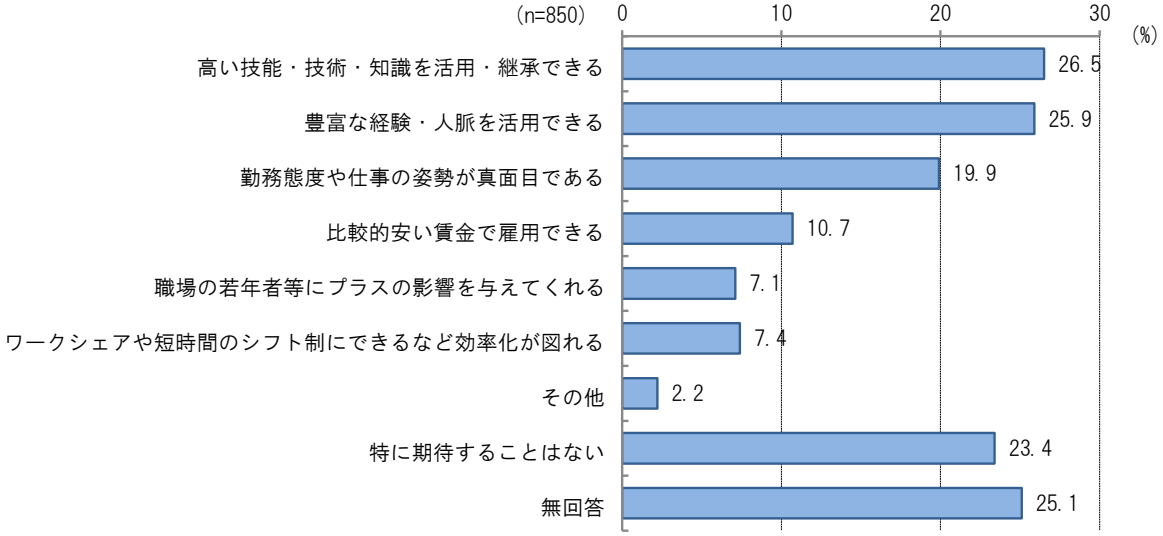
【今後の高齢者の新規採用】



③高齢者雇用で期待すること（複数回答可）

高齢者を雇用（継続、再雇用、新規を含む）するにあたって期待することについては、「高い技能・技術・知識を活用・継承できる」が 26.5%、「豊富な経験・人脈を活用できる」が 25.9%、「勤務態度や仕事の姿勢が真面目である」が 19.9%となっています。

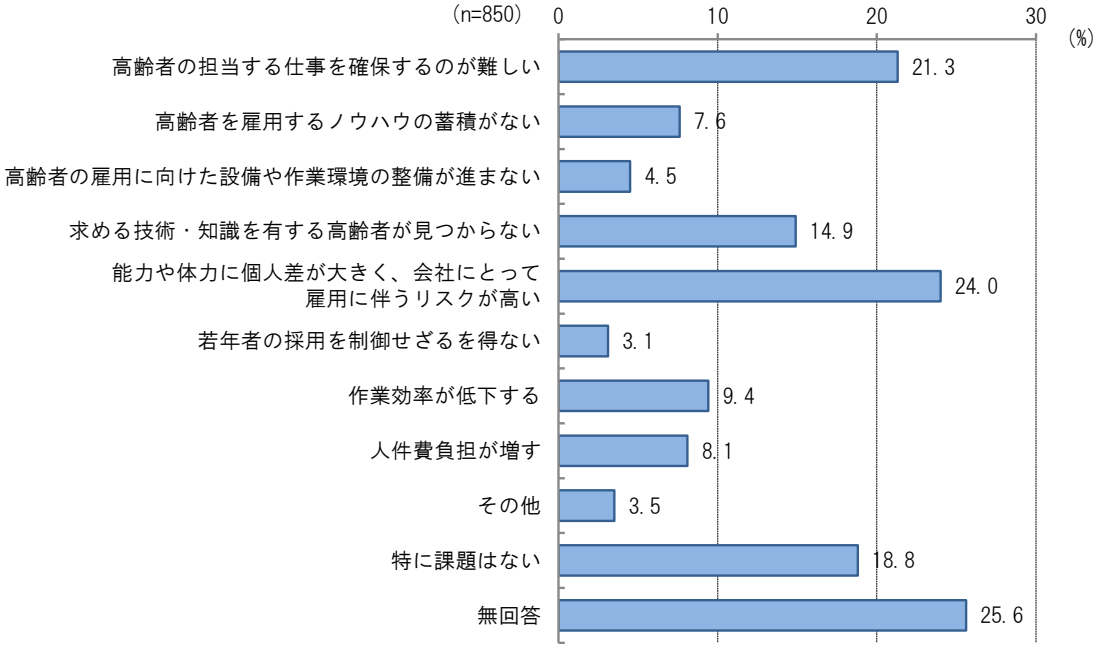
【高齢者雇用で期待すること】



④高齢者雇用にあたっての課題（複数回答可）

高齢者を雇用（継続、再雇用、新規を含む）するにあたっての課題については、「能力や体力に個人差が大きく、会社にとって雇用に伴うリスクが高い」が24.0%と最も多く、次いで「高齢者の担当する仕事を確保するのが難しい」が 21.3%、「求める技術・知識を有する高齢者が見つからない」が14.9%となっています。

【高齢者雇用にあたっての課題】

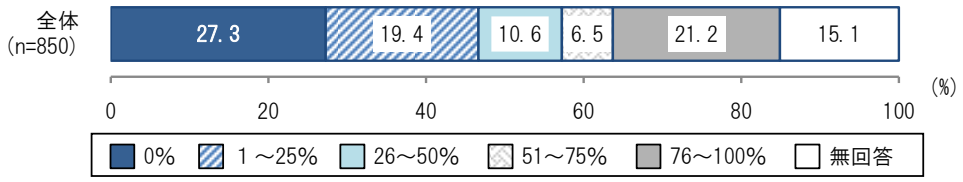


（６）従業員の摂津市内在住について

①摂津市内在住の従業員の占める割合

従業員の中で、摂津市内在住の従業員の占める割合をたずねたところ、50%以下の割合が半数以上となっています。

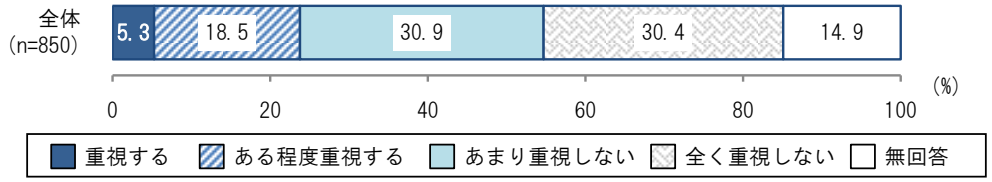
【摂津市内在住の従業員の占める割合】



②摂津市内在住であることを重視するか

従業員の採用にあたり、摂津市内在住であることをどの程度重視しているかたずねたところ、「重視する」と「ある程度重視する」を合わせた『重視する』派が23.8%、「全く重視しない」と「あまり重視しない」を合わせた『重視しない』派が61.3%となっています。

【摂津市内在住であることを重視するか】

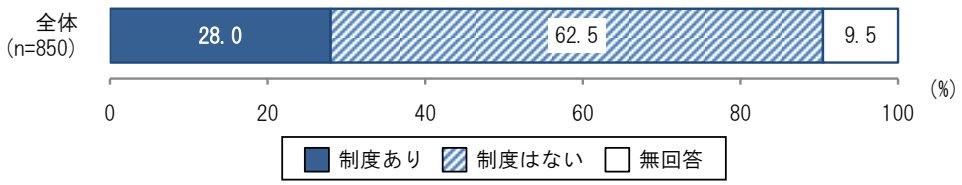


（７）退職金制度について

①退職金制度の有無

退職金制度については、「制度あり」が 28.0%、「制度はない」が 62.5%となっています。

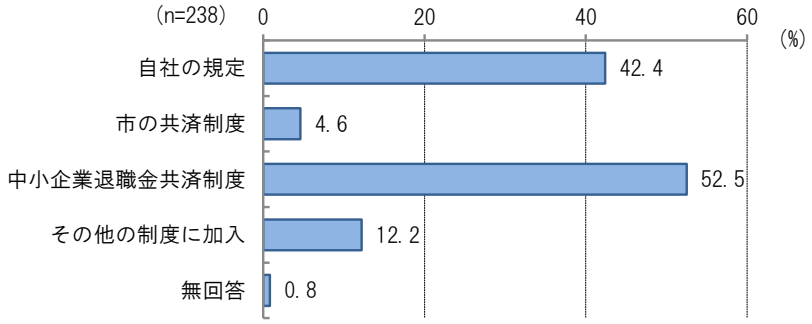
【退職金制度の有無】



②退職金制度の種類（複数回答可）
※①で「１．制度あり」と回答した方のみ

具体的にどのような制度かたずねたところ、「中小企業退職金共済制度」が 52.5%と最も多く、次いで「自社の規定」が 42.4%、「その他の制度に加入」が 12.2%、「市の共済制度」が 4.6%となっています。

【退職金制度の種類】



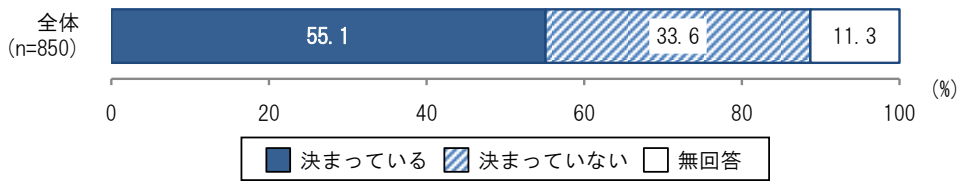
６　従業員の勤務・通勤状況について

（１）就業時間について

①就業時間は決まっているか

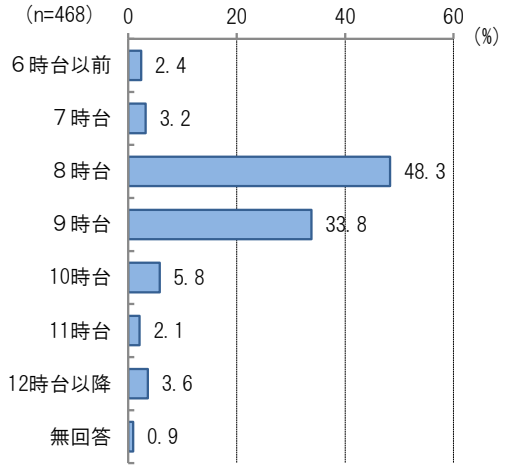
標準的な就業時間が決まっているかたずねたところ、「決まっている」が55.1%、「決まっていない」が33.6%となっています。

【就業時間】

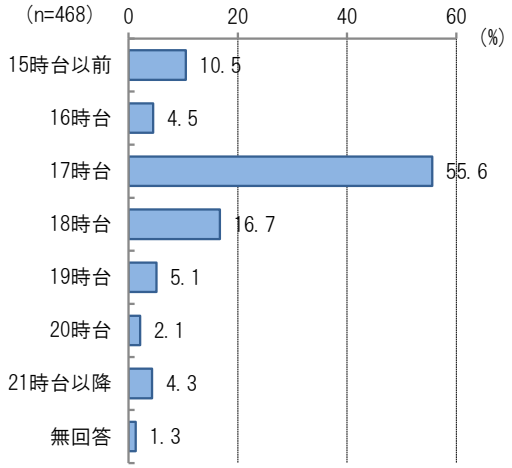


■決まっている場合の就業時間

【開始時間】



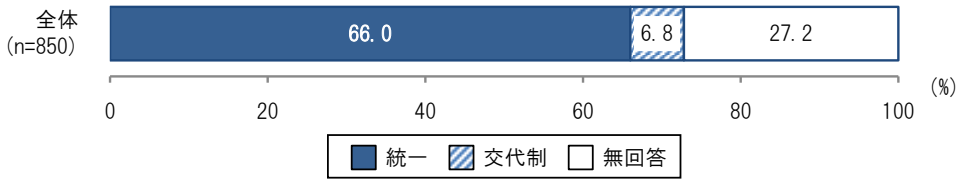
【終了時間】



②勤務体制

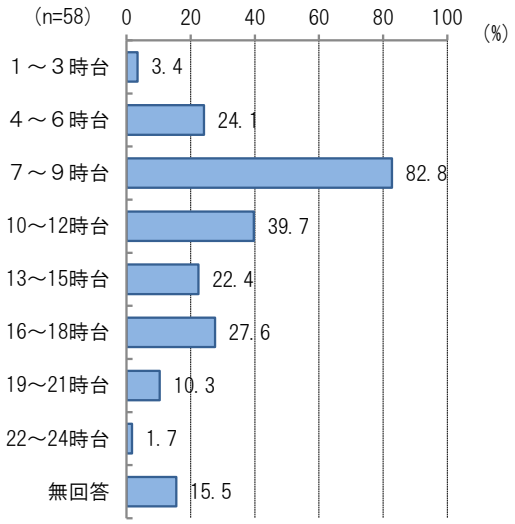
勤務体制については、「統一」が66.0%、「交代制」が6.8%となっています。

【勤務体制】

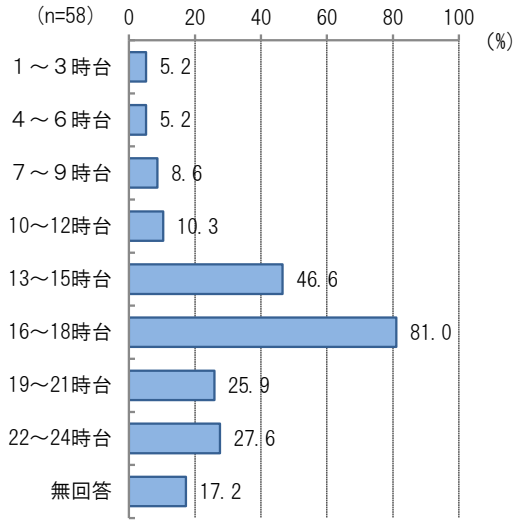


■交代制の就業時間　※就業時間①～③に記入されたものをまとめて集計した

【開始時間】



【終了時間】

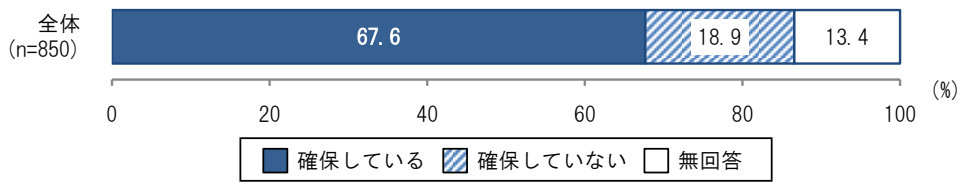


（２）通勤について

①駐車場の確保状況

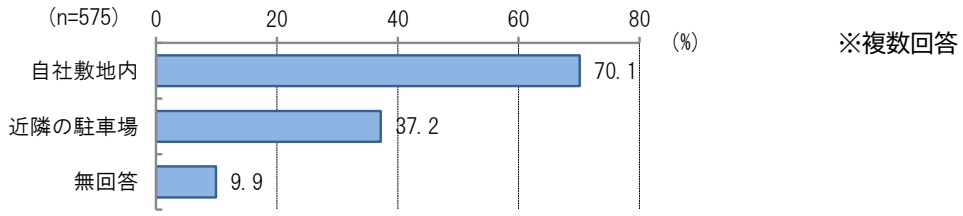
事業所で駐車場を確保しているかたずねたところ、「確保している」が 67.6%、「確保していない」が 18.9%となっています。また「確保している」と回答した事業所のうち７割は「自社敷地内」に駐車場を確保しています。

【駐車場の確保状況】

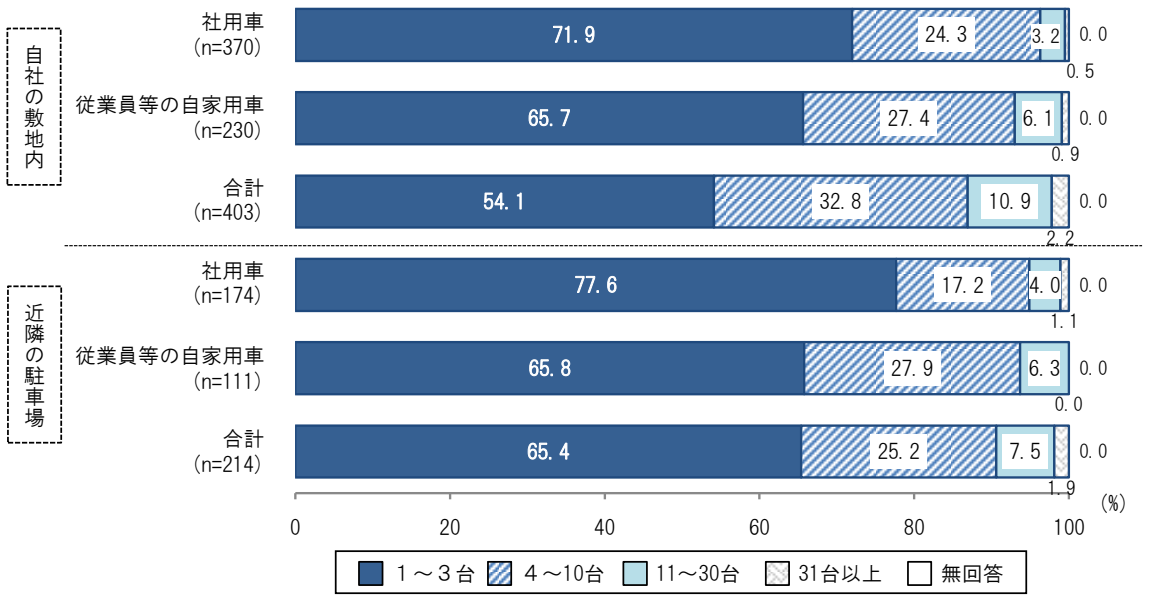


■確保している駐車場の場所と台数

【駐車場の場所】



【確保台数】



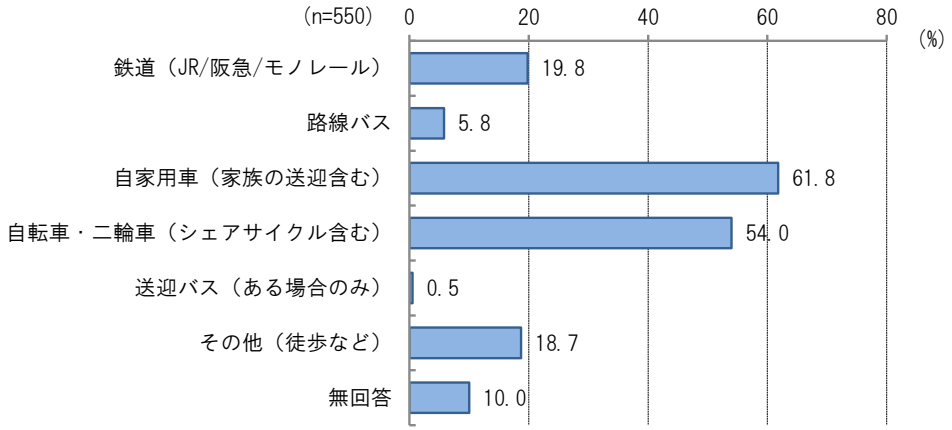
②従業員の通勤手段の把握状況

従業員の事業所までの通勤手段を把握しているかは、「把握している」が 64.7%、「把握していない」が 12.2%となっています。

【通勤手段の把握状況】

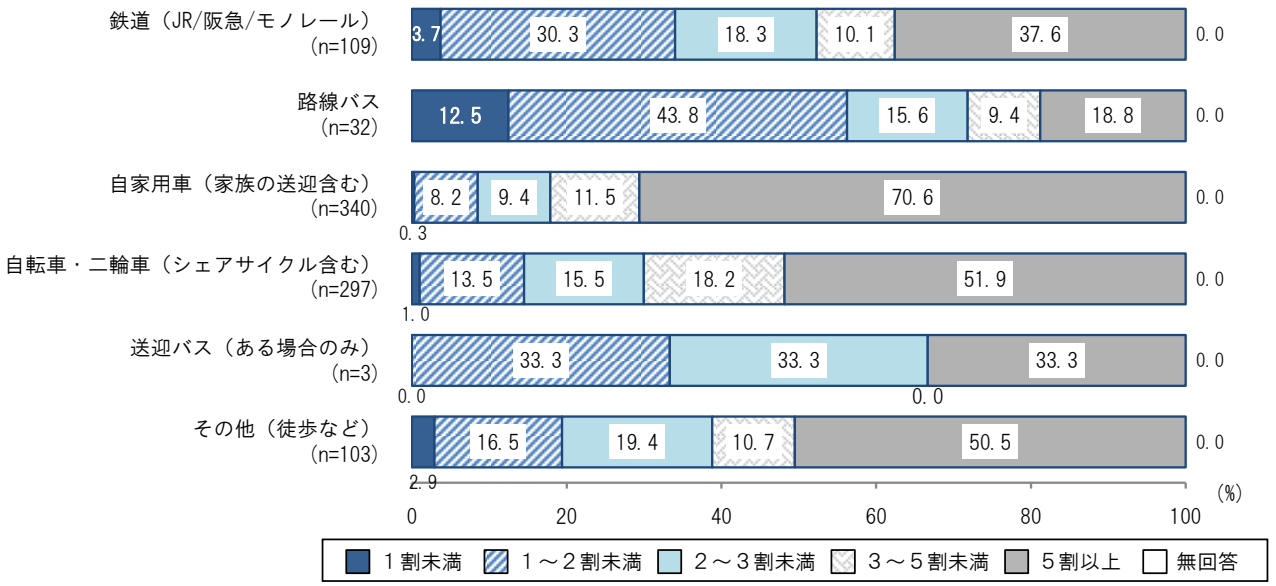
■把握している通勤手段と利用割合

【通勤手段】



※複数回答

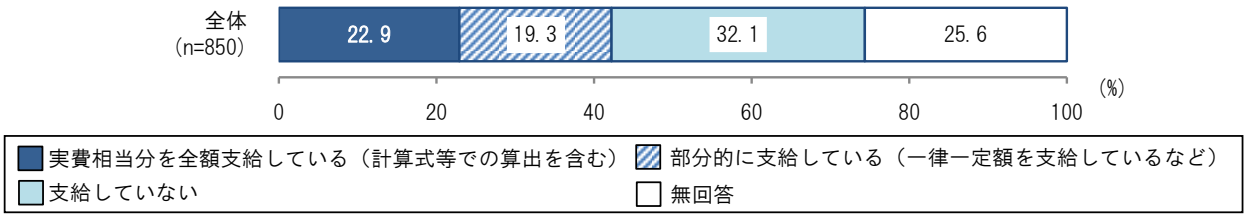
【通勤手段別の割合】



③自家用車での通勤に対する通勤手当の支給状況

従業員の自家用車での通勤に対して通勤手当を支給しているかたずねたところ、「支給していない」が32.1%と最も多く、次いで「実費相当分を全額支給している（計算式等での算出を含む）」が 22.9%、「部分的に支給している（一律一定額を支給しているなど）」が19.3%となっています。

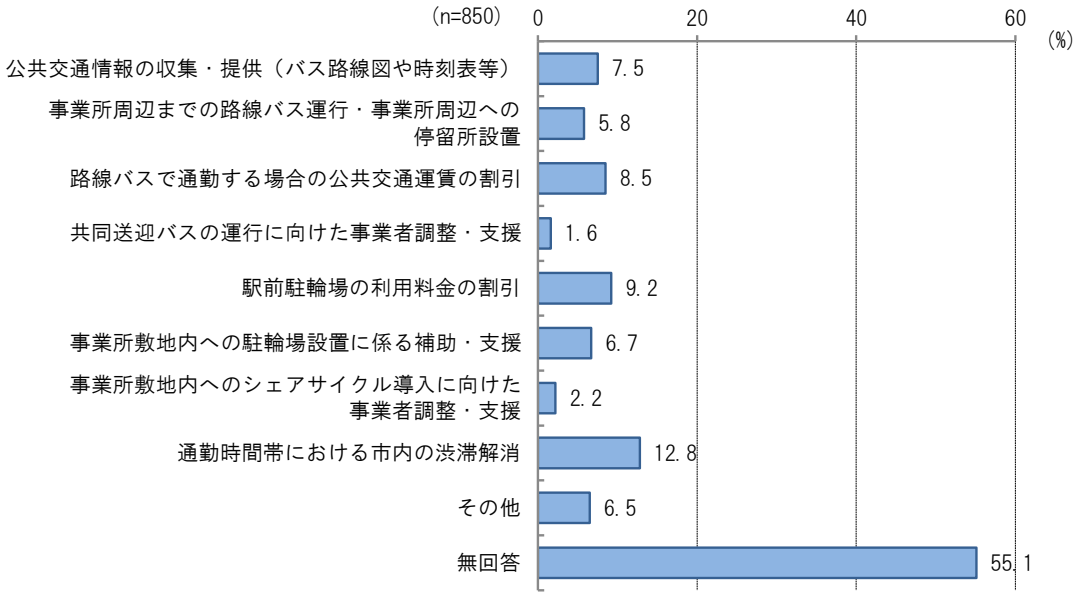
【自家用車での通勤に対する通勤手当の支給状況】



④通勤に関して、あったら良いと思う行政のサポート（複数回答可）

従業員の通勤に関して、あったらよいと思う行政のサポートについては、「通勤時間帯における市内の渋滞解消」が 12.8%と最も多く、次いで「駅前駐輪場の利用料金の割引」が9.2%、「路線バスで通勤する場合の公共交通運賃の割引」が8.5%、「公共交通情報の収集・提供（バス路線図や時刻表等）」が7.5%となっています。

【通勤に関して、あったら良いと思う行政のサポート】

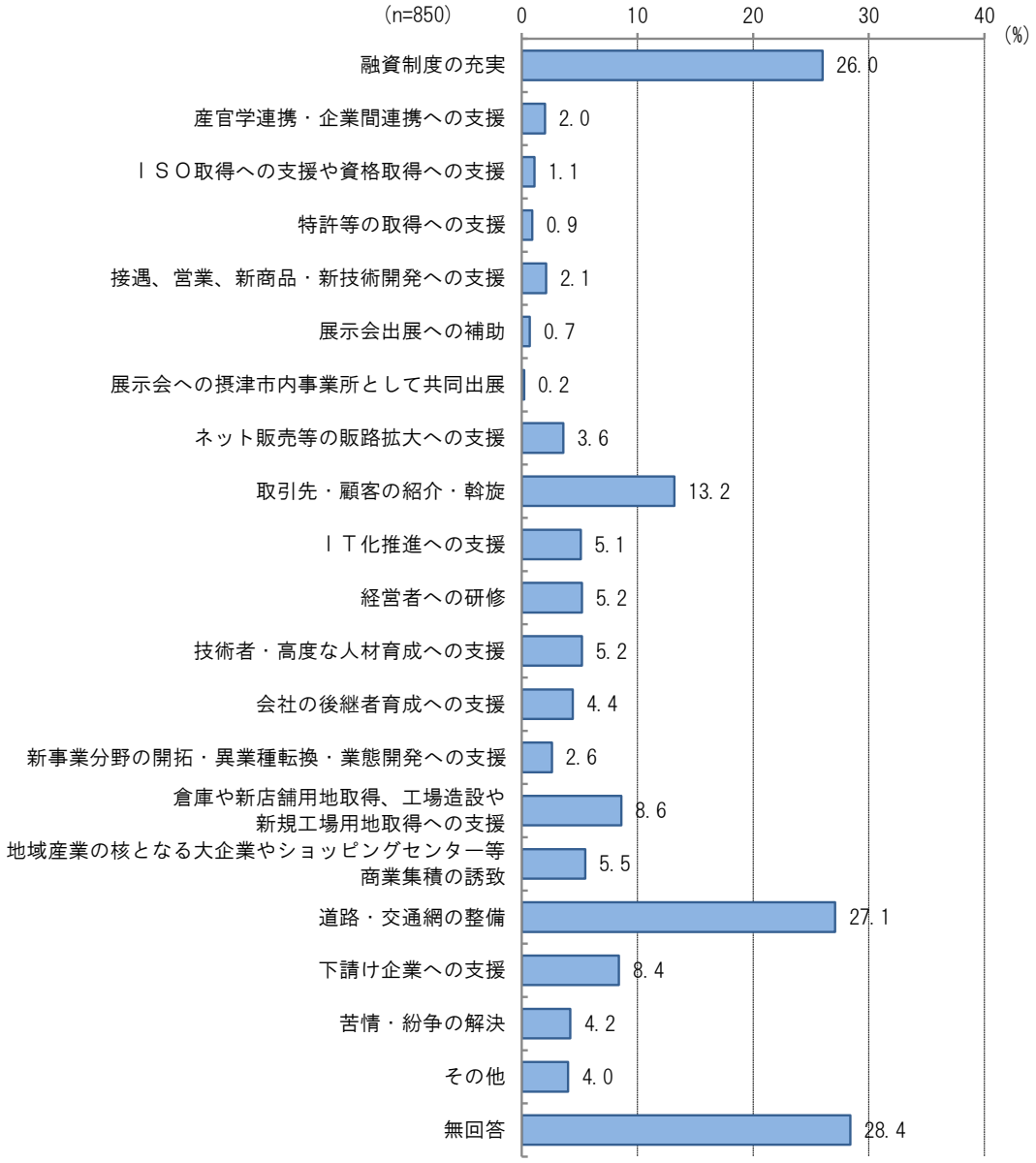


７　市政への要望

①今後行政に期待すること（複数回答可）

今後行政に期待することは、「道路・交通網の整備」が 27.1％と最も多く、次いで「融資制度の充実」が 26.0％、「取引先・顧客の紹介・斡旋」が 13.2％、「倉庫や新店舗用地取得、工場造設や新規工場用地取得への支援」が 8.6％、「下請け企業への支援」が 8.4％となっています。

【今後行政に期待すること】



②産業振興施策や産業全般についての意見（自由記述）

産業振興施策や産業全般についての意見は 81 件ありました。主な意見は次のとおりです。

□市からの支援に関すること

・支援金や補助金等、より苦しい企業へより多い支援をしていただきたい。
・市内には多岐にわたる企業があるので、市内企業間のビジネスマッチングを要望する。
・求人会社はどこも高く、高い費用を払っても人の確保が難しい。市など信頼できるところからの紹介があればありがたい。
・ビジネスサポートセンターの相談回数を増やしてほしい。
・振興券など、市民の購買意欲のでる施策をしてほしい。
・スタートアップを支援するようなコワーキングスペースや、安価で借りられるシェアオフィスなどがあれば新しい産業が摂津から生まれると思う。

□商業振興やまちの活性化

・市内の企業を盛り上げようと企画してくれている事がよくわかり、有難いと思っている。
・大小企業を誘致して人が集まる街にしてほしい。
・産業全般が地味に感じる。何かみんなで盛り上がれるようなイベント、大きな祭りや花火大会などがあれば良いと思う。
・人がいてこその産業だと思う。

□道路・交通、駅周辺の整備

・道路の混雑緩和に力を入れてほしい。
・踏切での渋滞の解消を促してほしい。
・千里丘駅前がもっと活気があると嬉しい。
・市外へ打ち合わせなどに行く時の交通アクセスが悪い。

□その他

・飲食出店できるイベントやレッスン、ライブの仕事の情報がほしい。
・市のサービスの事を知らなかった。どのサービスを受けられるかなど判断できるツールがほしい。
・就労意欲のある高齢者が十分働ける社会を作る必要があると思う。

3．参考（調査票）

事業所ニーズ調査

●この調査は、摂津市内に所在する事業所の動向を把握することにより、今後の本市施策策定の基礎資料とするためのものです。
●この調査に関わる調査関係者は、調査票の内容を他に漏らしたり、基礎資料以外の目的に使用することは一切ありません。
●調査の内容は、すべて統計的に処理します。申告者の不利益になることはありませんので、ありのままを記入してください。
●お忙しいとは存じますが、調査用紙にご回答いただき、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

8月2日（金）までにご投函くださいますよう、お願いいたします。

ご記入にあたってのお願い

1．この調査は、原則として事業所単位の調査ですので、各設問には事業所単位でお答えください。
2．この調査の回答については、令和６年７月１日を基準日として記入してください。
　設問文の後に、複数の選択をお願いしている場合は、記載どおり複数お選びください。
　また、（　）内等の記入欄については、具体的な内容をご記入ください。
3．調査票のご記入については、「黒」又は「青」のボールペン等を用い、はっきりとご記入ください。

【調査に関するお問い合わせ先】
摂津市 生活環境部 産業振興課 商工労政係
TEL：06-6383-1111 または 072-638-0007　　06-6383-1362（直通）
※お問い合わせ時間：9:00～17:00（土日祝以外の平日）

企業概要についてご記入ください

※下記の□のチェックボックスには、「レ」を入れてください。

事業所区分	□本社　□支店・営業所　□工場・加工場　□倉庫・物流施設　□研究所 □店舗・サービス施設　□その他（　　）			
経営形態	□法人　□個人		資本金	千円
従業員数	事業所従業員数		全社従業員数	
	正社員	非正規雇用	正社員	非正規雇用
	人	人	人	人
創業	（明・大・昭・平・令） 年	事業所所在地（町名）	（例：三島１丁目の場合 ➡ 三島）	

業種

□01. 農林漁業	□02. 鉱業	□03. 建設業	□04. 食品製造業
□05. 繊維工業	□06. 木材・木製品製造業	□07. 紙関連製造業	□08. 出版・印刷業
□09. 化学工業	□10. プラスチック製品製造業	□11. ゴム製品製造業	□12. 皮革・毛皮製品製造業
□13. 窯業・土石製品製造業	□14. 鉄・非鉄金属製造業	□15. 金属製品製造業	□16. 一般機械器具製造業
□17. 電気機械器具製造業	□18. 輸送機械製造業	□19. 精密・医療機械製造業	□20. その他の製造業
□21. 卸売業	□22. 小売業	□23. 飲食店	□24. 金融・保険業
□25. 不動産業	□26. 運輸業	□27. 電気・ガス・水道・熱供給業	□28. サービス業
□29. 教育・学習支援業	□30. 公的機関	□31. その他の業種（　　）	

1. サービスの利用について

【問１】サービスの利用についておうかがいします。これまで貴社で利用されたことのある本市のサービスについて、該当するものすべてに○をつけてください。

1．企業立地等促進制度（企業立地奨励金）	2．先端設備導入計画	3．中小企業事業資金融資
4．起業者融資補助金	5．中小企業育成事業補助金（出展料、研修費補助）	6．中小企業経営改善支援コンサルタント派遣
7．摂津ブランド認定制度	8．商工業活性化補助金	9．セッピィスクラッチ発行事業
10．摂津ビジネスサポートセンター	11．新商品開発支援補助金	12．創業促進テナント賃借料補助金
13．ビジネスマッチングフェア	14．各種就職フェア	15．摂津市オンライン催事
16．パートタイマー等退職金共済制度	17．市 HP による事業所紹介	18．その他（　　）

利用されたことがあると回答された方におたずねします。
そのサービスを利用されてどうでしたか。良かった点、悪かった点について、サービスの番号とご感想、ご意見をご自由にご記入ください。

サービスの番号	良かった点	悪かった点

2. 経営状況について

【問２】貴社の最終利益について、該当するものひとつに○をつけてください。

今期の最終利益は前期と比較して

1．増加を見込む	2．横ばいを見込む	3．減少を見込む

来期の最終利益は今期（見込）と比較して

1．増加を見込む	2．横ばいを見込む	3．減少を見込む

【問３】同業他社と比較した場合、現在、貴社の強みはどのような点ですか。該当するもの３つまでに○をつけてください。

＜表紙の業種が 01～20 番までの方＞

1．研究開発・技術開発
2．商品化・事業化
3．技術力・製造（加工）精度
4．品質管理・生産効率
5．小ロット・試作対応
6．短納期対応（スピード）
7．価格対応
8．販売・マーケティング
9．事務効率・資金効率
10．流通部門・サービス
11．ITの活用
12．熟練技術者
13．デザイン力
14．その他（　　）

＜表紙の業種が 21～30 番までの方＞

1．商品政策（MD）
2．サービス
3．営業・販売担当人材
4．品質管理・鮮度管理
5．価格政策
6．物流・在庫管理
7．営業・販売力
8．サプライチェーン
9．事務効率・資金効率
10．販売予測・需要予測
11．ITの活用
12．流通チャネル政策
13．企業イメージ
14．広告・宣伝・販促
15．その他（　　）

【問４】貴社がよく連携（業務提携や共同開発、共同仕入れ等）されるのは、どのようなタイプの業務ですか。該当するもの３つまでに○をつけてください。

1．情報交換　2．研究開発・技術開発・プロモーション
3．商品化・事業化　4．販売・マーケティング　5．物流・チャネル開拓
6．その他（　　）　7．連携はしていない

【問５】上の問４で「1」～「6」と回答された方におたずねします。
貴社がよく連携されるのは、どのような企業などですか。該当するもの３つまでに○をつけてください。

1．仕入先（原材料、部品、中間製品）・メーカー（製造業）　2．販売先・発注企業・卸売業者（中卸含む）
3．外注先　4．同業他社 ※
5．異業種他社 ※　6．金融機関
7．組合・業界団体　8．異業種交流団体・産学官連携組織
9．大学・大学院　10．公的研究機関などの公的支援機関
11．消費者・ユーザー（顧客）　12．その他（　　）

※仕入先、販売先・発注企業、外注先は除く

【問６】問５で連携に至ったきっかけを教えてください。

【問７】貴社がよく連携される企業などはどこに所在するものが多いですか。該当するもの３つまでに○をつけてください。

1．摂津市
2．吹田市、茨木市、豊中市、高槻市、箕面市、池田市、島本町、豊能町、能勢町
（摂津市以外の大阪府北摂地区）
3．守口市、門真市、寝屋川市、枚方市、交野市、四條畷市、大東市（大阪府北河内地区）
4．大阪市　5．その他大阪府内（選択肢の1～4以外）
6．大阪府以外の関西　7．関西以外の国内　8．海外（　　）

【問８】今後、経営においてどのような課題をお持ちだとお考えですか。該当するもの５つまでに○をつけてください。

1．専門技術、接遇・応対の維持・強化　2．顧客開拓・市場開拓、販売力強化
3．製品・商品価格の値上げ　4．仕入先の変更
5．人材・労働力の確保・育成　6．賃金カット・人員削減
7．情報収集・分析力の強化　8．企画・提案・開発力の強化
9．生産効率・販売効率の向上　10．設備投資
11．研究開発力・営業力・販売力の向上　12．企業間連携・ネットワークの強化
13．資金力の向上　14．経理・財務の強化
15．組織のスリム化・改革　16．外注の促進
17．内製化・適正規模化（ダウンサイジング）　18．企業や製品・商品のPR・宣伝等の強化
19．サービス向上　20．後継者対策
21．専門知識のある人材・副業人材の確保　22．DX やAIの活用及びそれらができる人材の確保
23．その他（　　）　24．わからない

【問９】問８で選択した課題に対し、具体的に対策していることはありますか。以下にご記入ください。

【問 10】貴社の経営者（代表取締役）の年齢をご回答ください。該当するものひとつに○をつけてください。

1．20 代以下　2．30 代　3．40 代
4．50 代　5．60 代　6．70 代以上

【問 11】貴社の後継者について、該当するものひとつに○をつけてください。

1．親族内承継を予定している　2．従業員等への承継を予定している
3．外部人材を後継者に迎え入れる予定である
4．後継者がいないので、会社譲渡・売却を予定している
5．後継者がいないので、いずれは廃業するつもりである　6．未定・わからない
7．その他（　　）

3. 企業立地について

【問 12】摂津市内に事業所を設置した理由について、該当するもの３つまでに○をつけてください。

1．市の補助金、奨励金制度	2．市のサポート体制
3．本社・他の自社工場への近接性	4．主要取引先・関連企業への近接性
5．市場への近接性	6．地代・賃料
7．原材料、商品等の入手の利便性	8．人材・労働力の確保
9．交通アクセスの利便性	10．市のポテンシャル（潜在力）
11．選んだ場所がたまたま摂津市内だった	12．その他（　　）

【問 13】摂津市内で事業を行うメリットについて、該当するもの３つまでに○をつけてください。

1．得意先・顧客が近い	2．外注先が近い
3．同業者が近い	4．大学や研究機関が近い
5．公共交通機関の便が良い	6．道路網が整備されている
7．人材・労働力を確保しやすい	8．情報通信基盤の充実
9．事業用地の確保が容易	10．地価や賃料が割安
11．行政の産業支援策（優遇税制等）がある	12．特になし
13．その他（　　）	

【問 14】立地条件として重視することについて、該当するもの３つまでに○をつけてください。

1．道路などインフラ整備が進み地域内の移動や輸送が容易
2．高速道路などへのアクセスが良く広域での移動や輸送が容易
3．近畿全域など大市場へのアクセスが容易
4．大学や研究機関などが集積し、技術や情報基盤が充実
5．支援機構・関連団体が充実
6．取引企業や親会社、顧客などと距離的に近い
7．業務関連の下請・協力企業の集積が厚い
8．優秀な人材を多く確保できる
9．パート労働者を多く確保できる
10．物価が安い
11．土地の価格が安い
12．自然環境・気候が良い
13．従業員の生活環境が良い
14．工業地域・商業地域などが整備されている
15．住居が少なく、騒音や臭いなどを気にせずに作業ができる
16．行政による資金面・税制面などの優遇措置が充実
17．その他（　　）

4. 雇用状況について

【問 15】貴社における従業員数について、該当するものひとつに○をつけてください。

前期と比較して

1．増加している	2．横ばいである	3．減少している

【問 16】今年度（令和６年度）、貴社は新卒採用または中途採用を行いましたか。該当するものに○をつけてください。また、採用した場合はその人数と理由について教えてください。

採用の有無

1．採用した	2．採用はしていない

採用した人数

（正社員）	（パート）	（契約社員）	（派遣社員）
人	人	人	人

採用した理由（複数可）

1．業務拡大	2．退職者の補充	3．正社員から他の雇用形態への切替
4．専門職の必要性	5．その他（　　）	

【問 17】採用活動に関する年間の経費はどれくらいですか。以下にご記入ください。（例：求人紙・求人サイトの掲載に○万円）

【問 18】人材確保の状況について、あてはまるものについて○をつけてください。

1．人材の確保は十分にできている	2．人材確保の必要があるが、できていない
3．人材を確認する必要がない	

【問 19】問 18 にて、「1．人材の確保は十分にできている」と回答した方はその手段、「2．人材確保の必要があるが、できていない」と回答した方はその理由を記入してください。

【問 20】人材育成の取り組みについて、該当するものすべてに○をつけてください。

1．社内での研修・講習会	2．公的機関主催の講習会等へ参加
3．業界団体主催の研修会等へ参加	4．通信教育の奨励
5．検定・資格取得の奨励	6．取り組んでいない
7．その他（　　）	

【問 21】貴社における外国人技能実習生の雇用状況をおきかせください。

①貴社では、外国人技能実習生を雇用していますか。

1．雇用している　　2．雇用していない

②上記①で「1」と回答された方におたずねします。
雇用されている外国人技能実習生の国籍と人数を記入してください。

1．ベトナム　　人　　2．中国　　人
3．フィリピン　　人　　4．その他（　　）

上記①で「2」と回答された方におたずねします。
今後、外国人技能実習生を雇用する予定はありますか。

1．予定がある　　2．予定はない　　3．その他（　　）

③外国人技能実習生を雇用することについてどのような課題が考えられますか。以下にご記入ください。

【問 22】貴社での障がい者雇用についてお伺いします。以下の質問にお答えください。

①雇用状況についてどちらかに○をつけ、「雇用している」場合は、雇用人数をご記入ください。

1．雇用している ➡ 常勤雇用（正社員・非常勤等）　　人
2．雇用していない　　臨時雇用（パート・アルバイト）　　人

②上記①で「1．雇用している」を選択した方のみご回答ください。
障がい者雇用の動機は何ですか。該当するものすべてに○をつけてください。

1．障がい者雇用率を達成するため　　2．ハローワーク等の行政機関の要請から
3．国等の助成制度があるから　　4．企業の社会的責務として
5．仕事を受注するのに雇用が必要となっているため　　6．特段、動機はない
7．その他（　　）

【問 23】今後の障がい者雇用の予定についてお伺いします。該当するものひとつに○をつけてください。

1．近く雇用の予定　　2．検討中　　3．考えていない

【問 24】貴社では、過去５年間に 65 歳以上の方を新規に採用したことがありますか。該当するものひとつに○をつけてください。

1．ある　　2．ない

【問 25】今後、65 歳以上の方の新規採用を増やしたい、又は始めたいと考えていますか。該当するものひとつに○をつけてください。

1．考えている　　2．考えていない　　3．わからない

【問 26】高齢者を雇用（継続、再雇用、新規を含む）するにあたって期待することについてご回答ください。該当するものすべてに○をつけてください。

1．高い技能・技術・知識を活用・継承できる
2．豊富な経験・人脈を活用できる
3．勤務態度や仕事の姿勢が真面目である
4．比較的安い賃金で雇用できる
5．職場の若年者等にプラスの影響を与えてくれる
6．ワークシェアや短時間のシフト制にできるなど効率化が図れる
7．特に期待することはない
8．その他（　　）

【問 27】高齢者を雇用（継続、再雇用、新規を含む）するにあたっての課題についてご回答ください。該当するものすべてに○をつけてください。

1．高齢者の担当する仕事を確保するのが難しい
2．高齢者を雇用するノウハウの蓄積がない
3．高齢者の雇用に向けた設備や作業環境の整備が進まない
4．求める技術・知識を有する高齢者が見つからない
5．能力や体力に個人差が大きく、会社にとって雇用に伴うリスクが高い
6．若年者の採用を制御せざるを得ない
7．作業効率が低下する
8．人件費負担が増す
9．特に課題はない
10．その他（　　）

【問 28】貴社の従業員の中で、摂津市内在住の従業員の占める割合は次のうちどれにあてはまりますか。該当するものひとつに○をつけてください。

1．0%　　2．1～25%　　3．26～50%　　4．51～75%　　5．76～100%

【問 29】貴社では、従業員の採用にあたり、摂津市内在住であることをどの程度重視されていますか。貴社の考え方に最も近いものひとつに○をつけてください。

1．重視する　　2．ある程度重視する　　3．あまり重視しない　　4．全く重視しない

【問 30】退職金制度についてお伺いします。以下の質問にご回答ください。

①貴社では、退職金制度がありますか。該当するものひとつに○をつけてください。

1．制度あり　　2．制度はない

②上記①で、「1．制度あり」とお答えの方のみご回答ください。
具体的にどのような制度ですか。該当するものすべてに○をつけてください。

1．自社の規定　　2．市の共済制度　　3．中小企業退職金共済制度
4．その他の制度に加入（制度名：　　）

5. 従業員の勤務・通勤状況について

【問 31】貴社では標準的な就業時間が決まっていますか。該当するものに○をつけ、決まっている場合は具体的な就業時間もご記入ください。

1．決まっている ➡（　　時　　分　～　　時　　分）
2．決まっていない

【問 32】貴社での勤務体制はどのようになっていますか。該当するものに○をつけ、交代制の場合は具体的な就業時間もご記入ください。

1．統一
2．交代制 ➡
就業時間①（始業時間～終業時間）（　　時　　分　～　　時　　分）
就業時間②（始業時間～終業時間）（　　時　　分　～　　時　　分）
就業時間③（始業時間～終業時間）（　　時　　分　～　　時　　分）

【問 33】事業所で駐車場を何台分確保していますか。該当するものに○をつけ、確保している場合は台数もご記入ください。※社用車と自家用車の区別がない場合は合計のみ記載して下さい。

1．確保している ➡
自社敷地内に確保　社用車　：　台
従業員等の自家用車　：　台
合計　：　台
➡ 近隣の駐車場を借り上げ　社用車　：　台
従業員等の自家用車　：　台
合計　：　台
2．確保していない

【問 34】従業員の事業所までの通勤手段を把握されていますか。該当するものに○をつけ、把握している場合は各交通モードの利用割合もご記入ください。

1．把握している ➡
鉄道（JR/阪急/モノレール）　約　割
路線バス　約　割
自家用車（家族の送迎含む）　約　割
自転車・二輪車（シェアサイクル含む）　約　割
送迎バス（ある場合のみ）　約　割
その他（徒歩など）　約　割
2．把握していない

【問 35】従業員の自家用車での通勤に対して通勤手当を支給していますか。

1．実費相当分を全額支給している（計算式等での算出を含む）
2．部分的に支給している（一律一定額を支給しているなど）
3．支給していない

【問 36】従業員の通勤に関して、あったらよいと思う行政のサポートがあれば、該当するもの３つまでに○をつけてください。

1．公共交通情報の収集・提供（バス路線図や時刻表等）
2．事業所周辺までの路線バス運行・事業所周辺への停留所設置
3．路線バスで通勤する場合の公共交通運賃の割引
4．共同送迎バスの運行に向けた事業者調整・支援
5．駅前駐輪場の利用料金の割引
6．事業所敷地内への駐輪場設置に係る補助・支援
7．事業所敷地内へのシェアサイクル導入に向けた事業者調整・支援
8．通勤時間帯における市内の渋滞解消（→場所：　例：XX交差点・○○駅周辺等）
9．その他（具体的に　　）

6. 市政への要望、その他について

【問 37】今後、行政に期待することは何ですか。次の施策のうち３つまでに○をつけてください。

1．融資制度の充実
2．産官学連携・企業間連携への支援
3．ISO取得への支援や資格取得への支援
4．特許等の取得への支援
5．接遇、営業、新商品・新技術開発への支援
6．展示会出展への補助
7．展示会への摂津市内事業所として共同出展
8．ネット販売等の販路拡大への支援
9．取引先・顧客の紹介・斡旋
10．IT化推進への支援
11．経営者への研修
12．技術者・高度な人材育成への支援
13．会社の後継者育成への支援
14．新事業分野の開拓・異業種転換・業態開発への支援
15．倉庫や新店舗用地取得、工場造設や新規工場用地取得への支援
16．地域産業の核となる大企業やショッピングセンター等商業集積の誘致
17．道路・交通網の整備
18．下請け企業への支援
19．苦情・紛争の解決
20．その他（　　）

【問 38】その他、産業振興施策や産業全般についてのご意見等ございましたら、下記欄に自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
調査の結果は、市ホームページなどでお知らせします。